

Ⅲ 集計

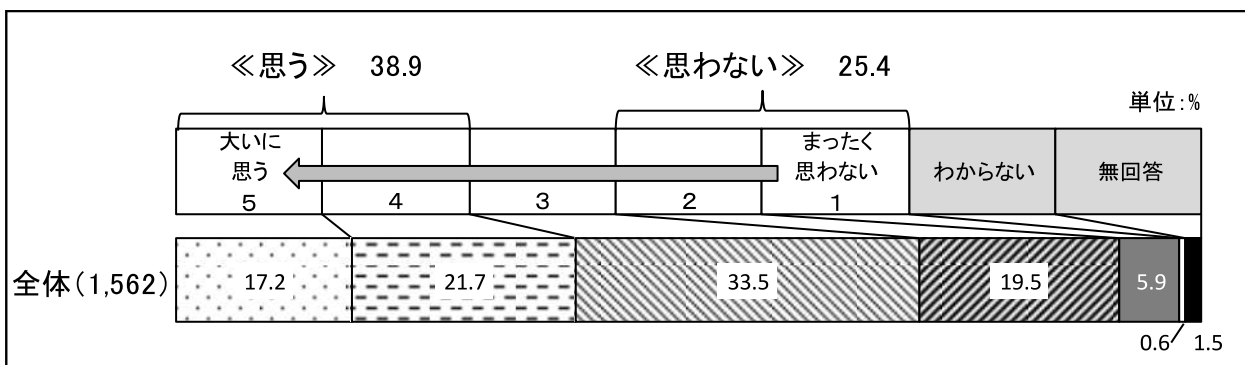
1. 健康・福祉

(1) 運動の実施

■ 《思う》が約4割を占める。

問1 (1) 体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？

※体を動かしたり運動したりすることには、スポーツだけでなく、散歩や階段の利用なども含みます。

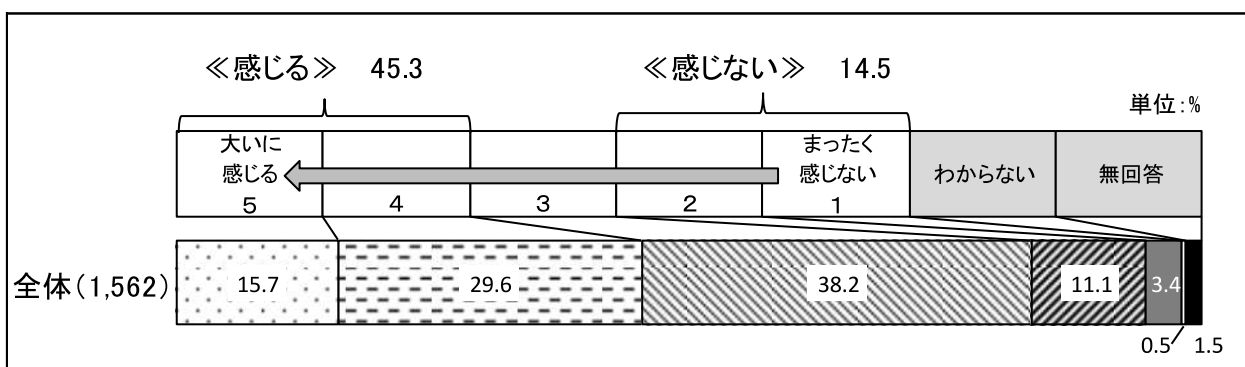


体を動かしたり運動したりすることができていると思うか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《思う》は38.9%と約4割を占め、「1」と「2」を合わせた《思わない》の25.4%を上回る。

(2) 健康的な食生活

■ 《感じる》が4割台半ばを占める。

問1 (2) 健康的な食生活を送ることができていると感じますか？

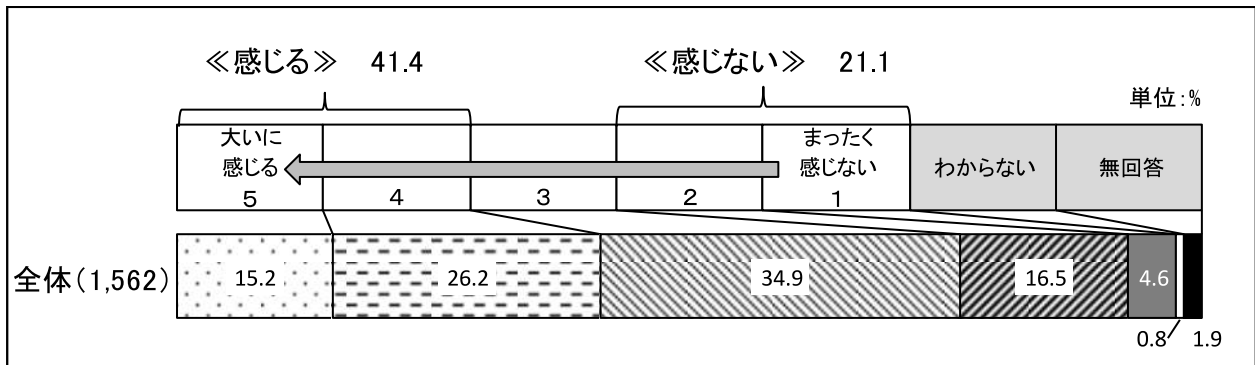


健康的な食生活を送ることができていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《感じる》は45.3%と4割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた《感じない》の14.5%を上回る。

（３）体の休息

■ 《感じる》が約４割を占める。

問１（３）体を休めることができていると感じますか？

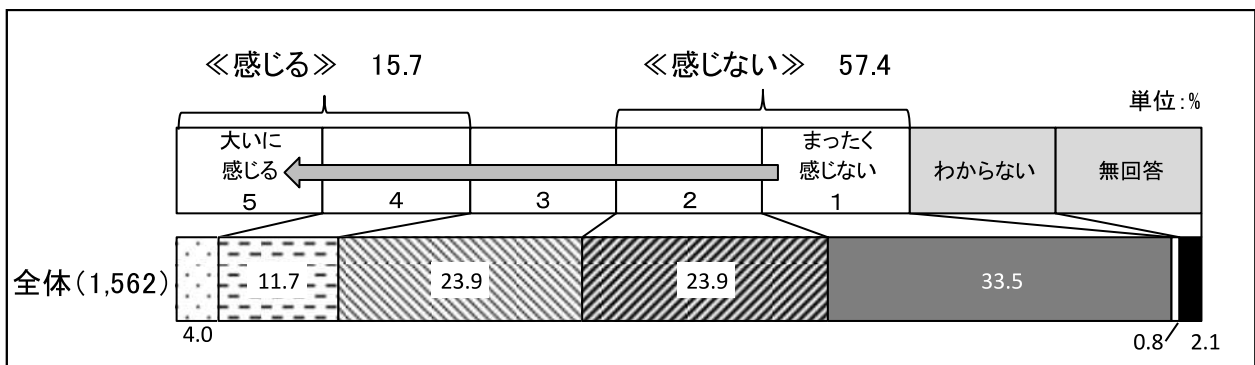


体を休めることができていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は41.4%と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の21.1%を上回る。

（４）つながり

■ 《感じない》が約６割を占める。

問１（４）孤立感や孤独感を感じますか？

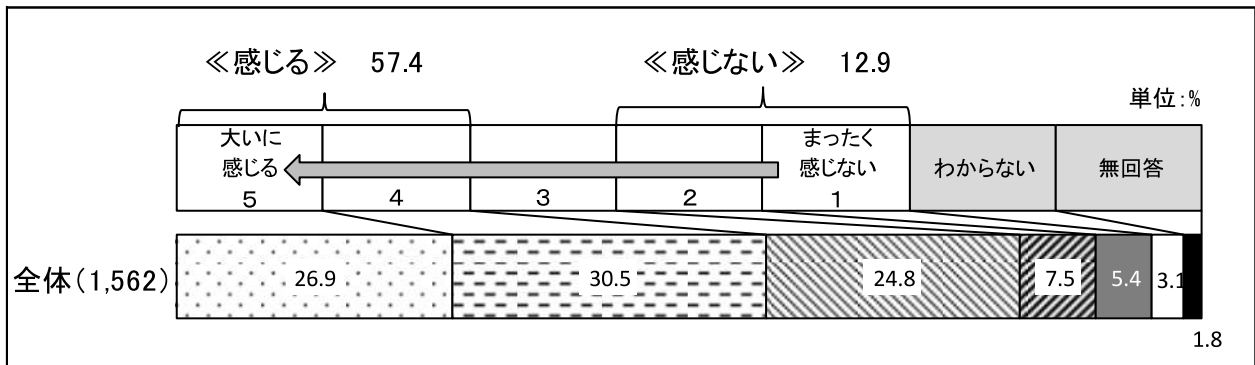


孤立感や孤独感を感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は57.4%と約６割を占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の15.7%を上回る。

（５）自分の役割

■ 《感じる》が約６割を占める。

問１（５）家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？

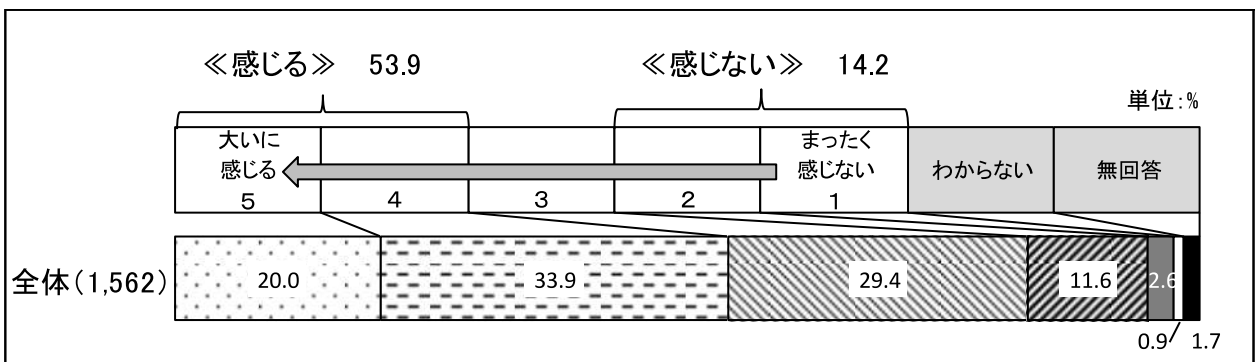


家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は57.4%と約６割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の12.9%を上回る。

（６）心の安らぎ

■ 《感じる》が５割台半ばを占める。

問１（６）心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？

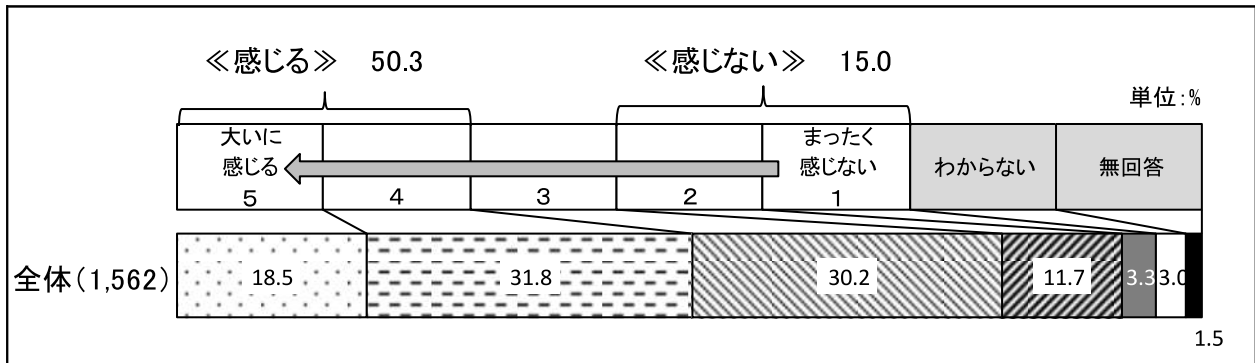


心が安らぐ時間を持つことができていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は53.9%と５割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の14.2%を上回る。

（７）医療の充実

■ 《感じる》が約５割を占める。

問１（７） お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか？

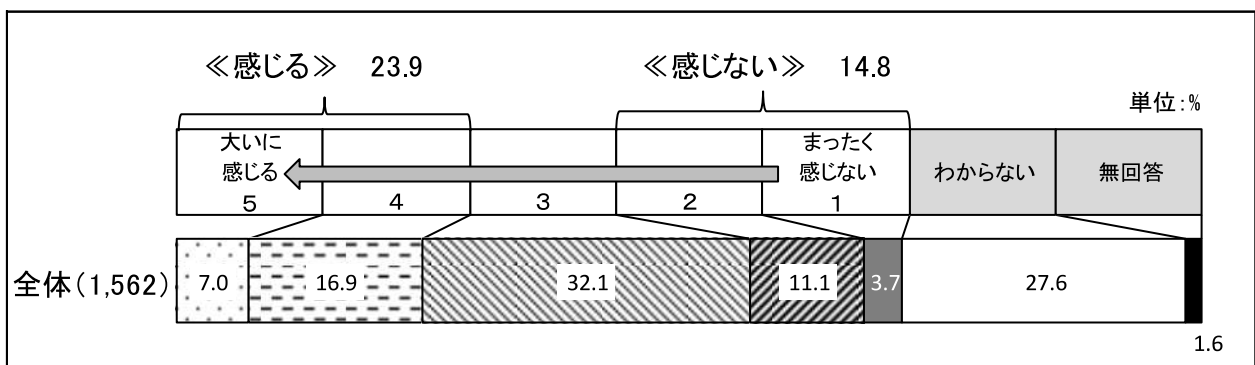


お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関が充実していると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は50.3%と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の15.0%を上回る。

（８）福祉の充実

■ 《感じる》が２割台半ばを占める。

問１（８） お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？
※福祉の充実とは、高齢者の介護施設や障がい者の生活支援施設といった施設の数や福祉サービスの質の充実などを指します。

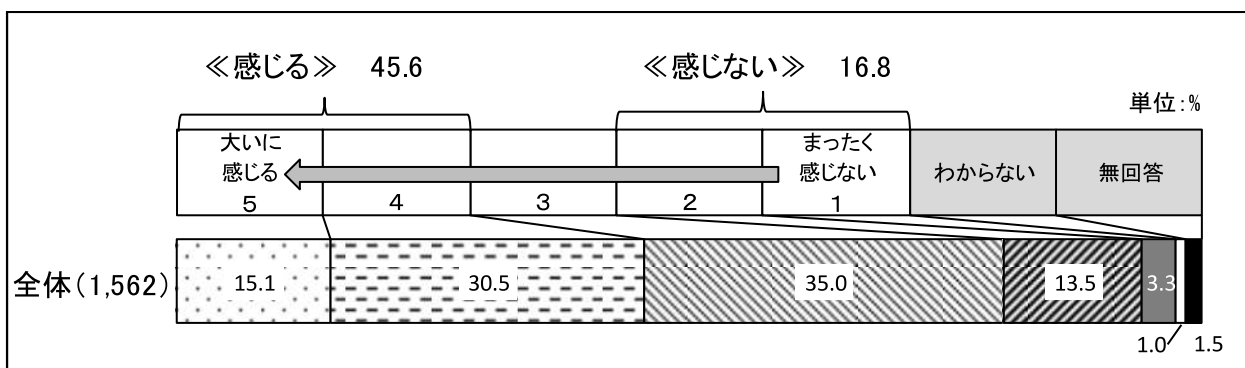


お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は23.9%と２割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の14.8%を上回る。

（９）健康の実感

■ 《感じる》が４割台半ばを占める。

問１（９）心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？

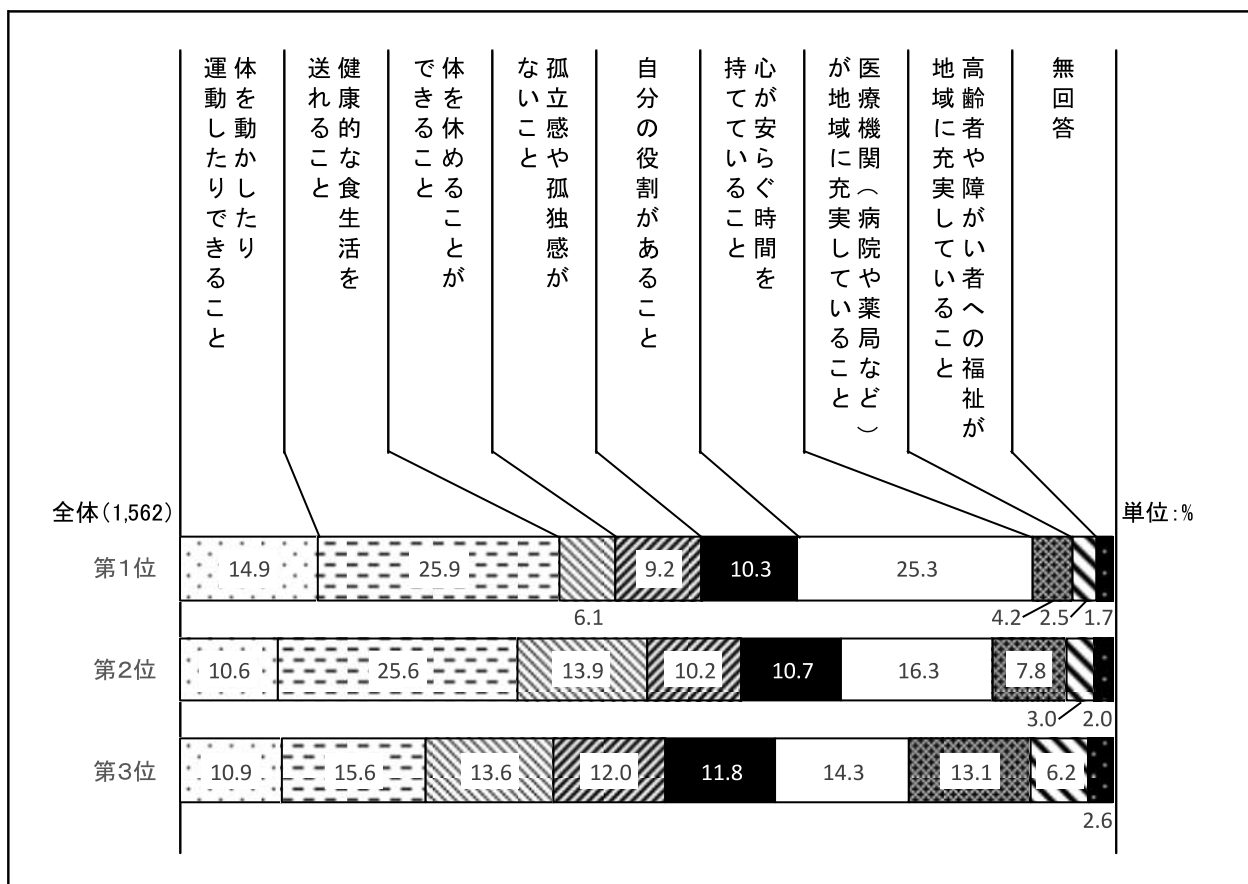


心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は45.6%と４割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の16.8%を上回る。

(10) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- ≪第1位≫ 「健康的な食生活を送れること」が2割台半ば。
- ≪第2位≫ 「健康的な食生活を送れること」が2割台半ば。
- ≪第3位≫ 「健康的な食生活を送れること」が1割台半ば。

問2 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「健康的な食生活を送れること」が25.9%で最も高く、次いで「心が安らぐ時間を持てていること」は25.3%で続く。また、第2位として選択した項目は「健康的な食生活を送れること」が25.6%で最も高く、第3位として選択した項目は「健康的な食生活を送れること」が15.6%で最も高い結果となった。

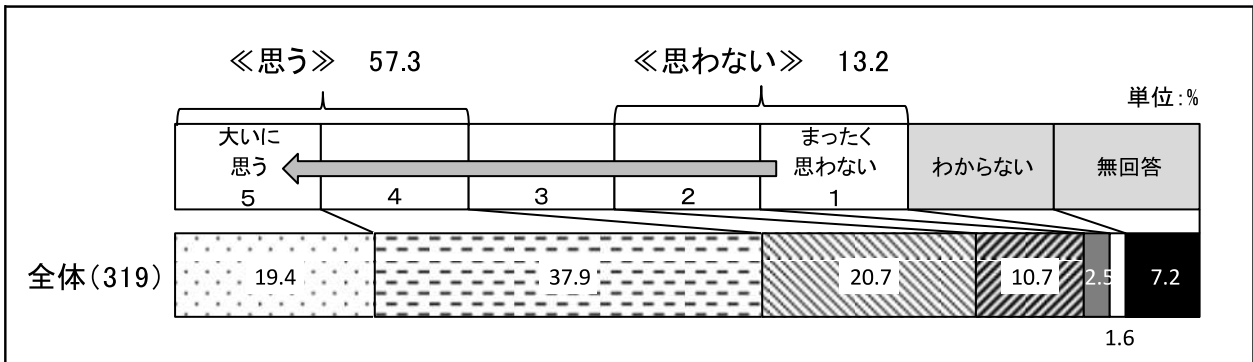
2. 子育て・教育

※ 子育て・教育分野は18歳未満のお子さん（同居・別居問わず）がいる方のみ回答

（1）規則正しい生活習慣

■ 《思う》が約6割を占める。

問3（1）お子さんが規則正しい生活習慣を身につけていると思いますか？

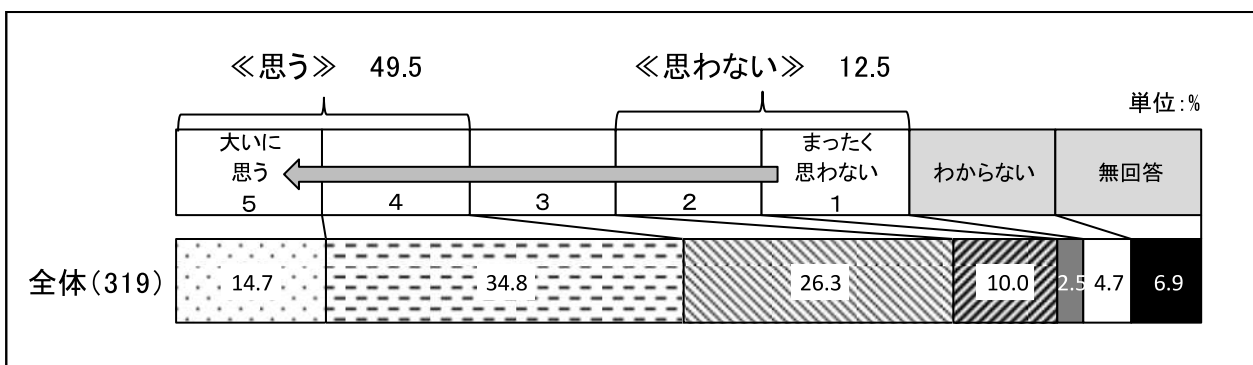


お子さんが規則正しい生活習慣を身につけていると思うか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《思う》は57.3%と約6割を占め、「1」と「2」を合わせた《思わない》の13.2%を上回る。

（2）「生きる力」の習得

■ 《思う》が約5割を占める。

問3（2）お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？

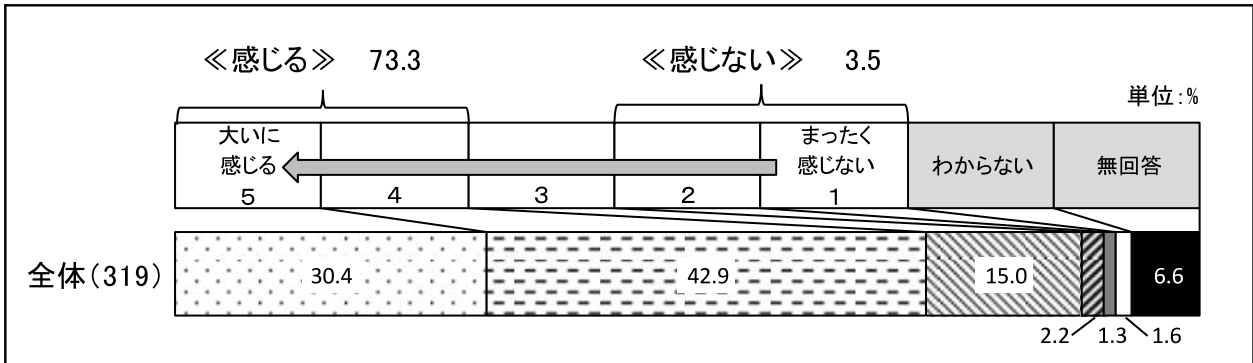


お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思うか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《思う》は49.5%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた《思わない》の12.5%を上回る。

（３）親子コミュニケーション

■ 《感じる》が約７割を占める。

問３（３）親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？



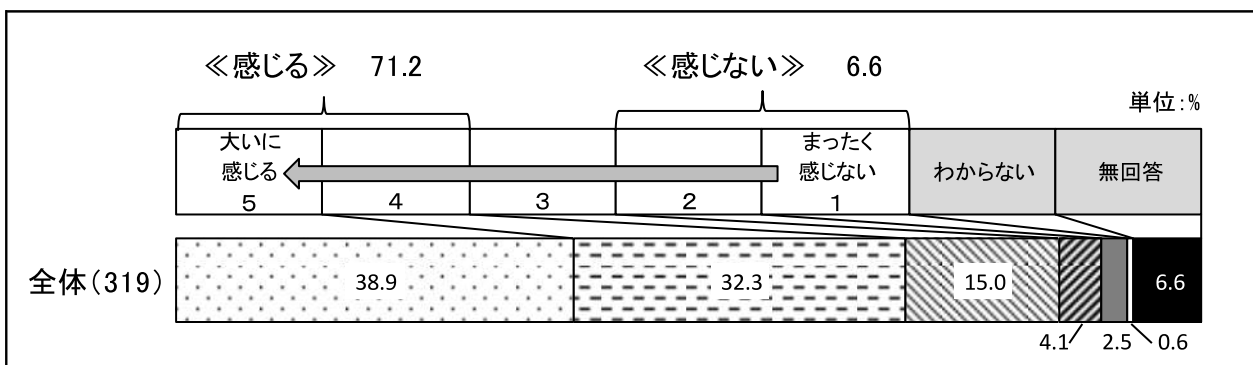
親子の間でコミュニケーションがとれていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は73.3%と約７割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の3.5%を上回る。

（４）家族の理解・協力

■ 《感じる》が約７割を占める。

問３（４）あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じますか？

※ここでの家族には、配偶者またはパートナー、ご自身及び配偶者またはパートナーの親、親類などを含み、同居しているか否かは問いません。

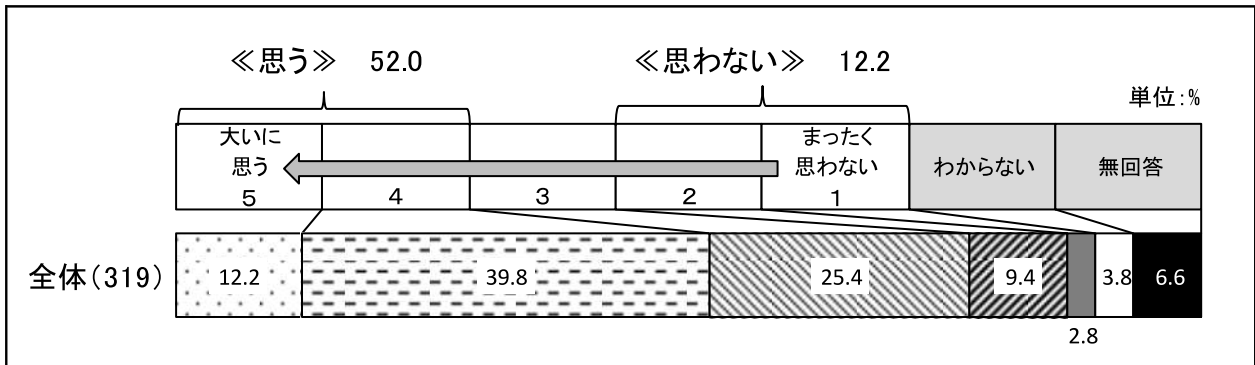


あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は71.2%と約７割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の6.6%を上回る。

（５）子育て・教育環境の充実

■ 《思う》が約５割を占める。

問３（５） お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など（提供しているのが、民間か行政かを問わず）が充実していると思いますか？

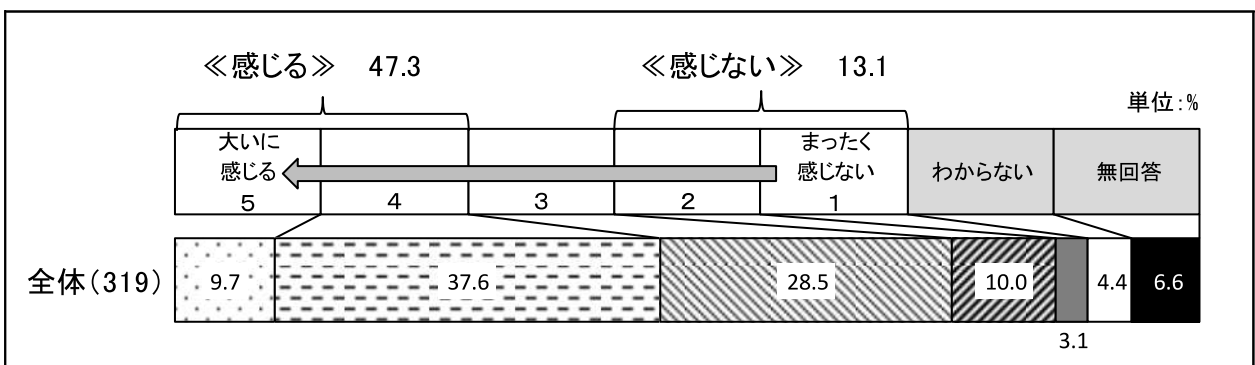


お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思うか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《思う》は 52.0%と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた《思わない》の 12.2%を上回る。

（６）地域の子育てへの理解・協力

■ 《感じる》が約５割を占める。

問３（６） お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？



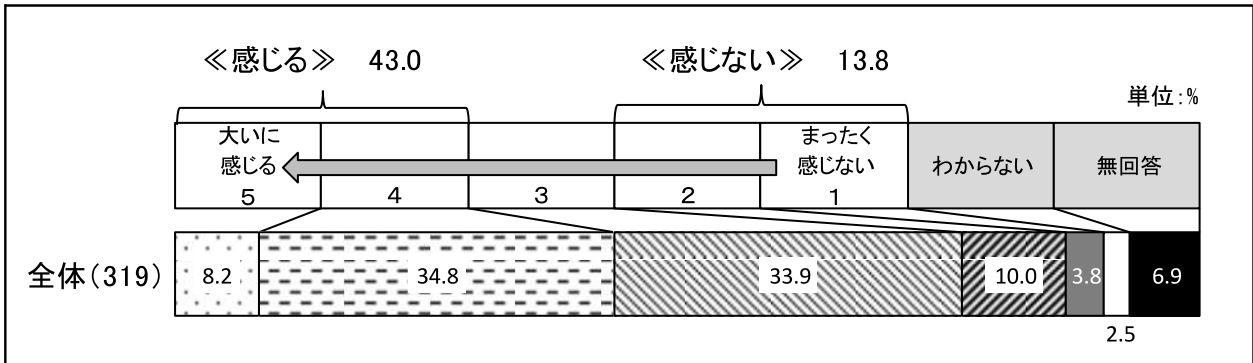
お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は 47.3%と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の 13.1%を上回る。

（７）望む子育てができる環境の充実

■ 《感じる》が約４割を占める

問３（７）自分が望む子育てができるような環境があると感じますか？

※ここでの環境には、子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含みます。

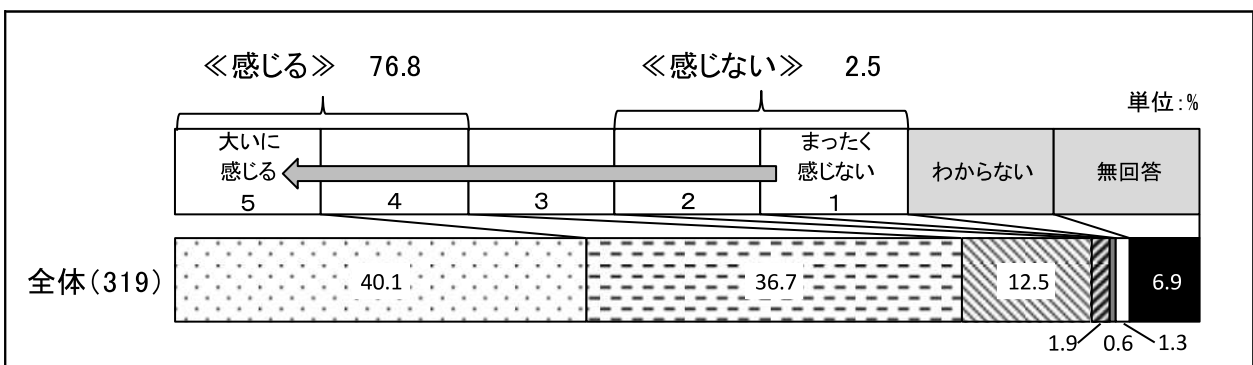


自分が望む子育てができるような環境があると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は43.0%と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の13.8%を上回る。

（８）子どもの成長の実感

■ 《感じる》が約８割を占める。

問３（８）お子さんが健やかに成長していると感じますか？

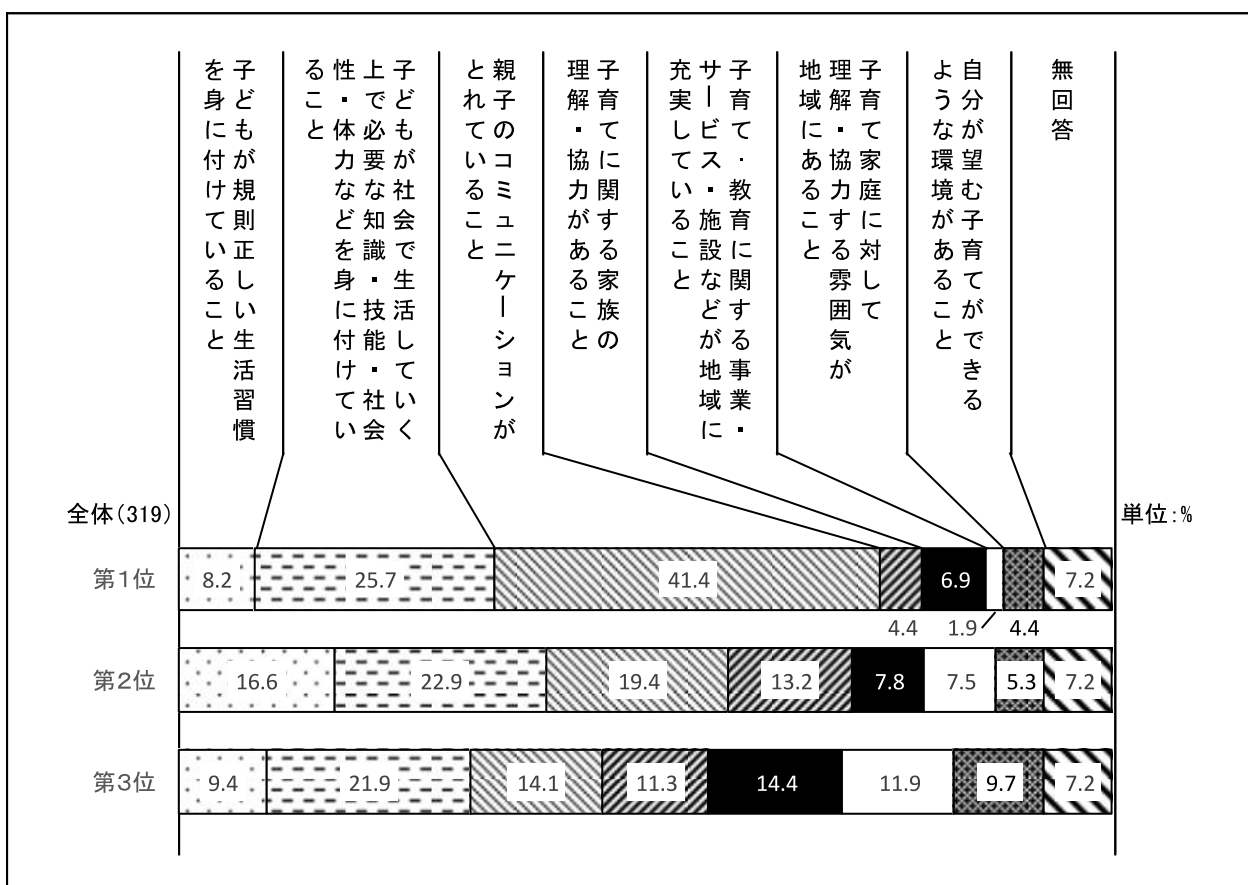


お子さんが健やかに成長していると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は76.8%と約８割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の2.5%を上回る。

(9) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- ≪第1位≫ 「親子のコミュニケーションがとれていること」約4割。
- ≪第2位≫ 「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」約2割。
- ≪第3位≫ 「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」約2割。

問4 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



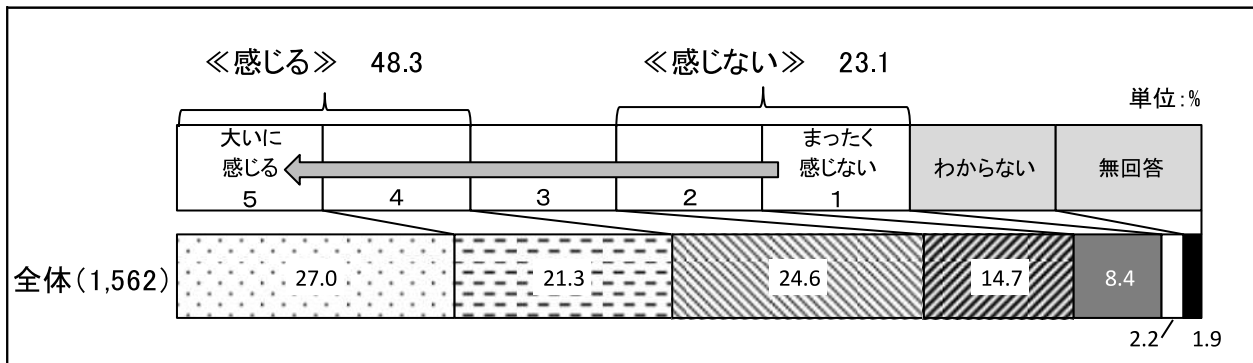
あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「親子のコミュニケーションがとれていること」が41.4%で最も高く、次いで「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」は25.7%で続く。また、第2位として選択した項目は「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」が22.9%で最も高く、第3位として選択した項目も「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」が21.9%で最も高い結果となった。

3. 産業

(1) 生活の安定

■ 《感じる》が約5割を占める。

問5 (1) 生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じますか？



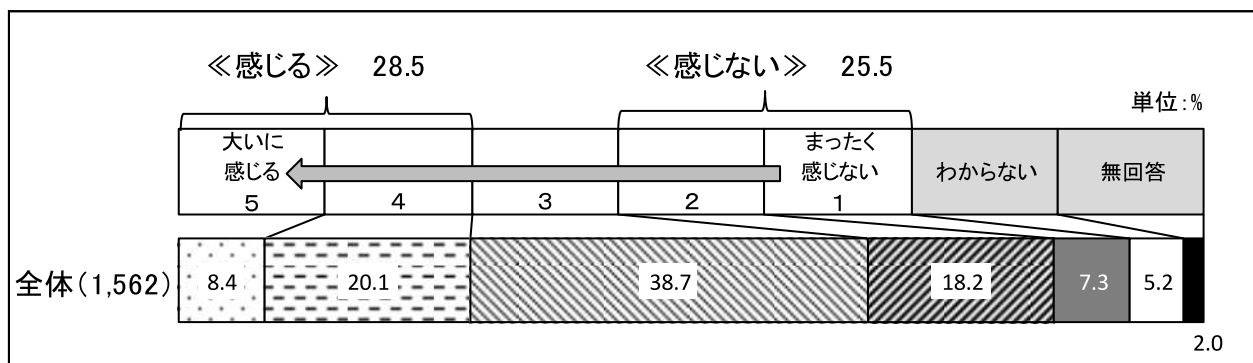
生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《感じる》は48.3%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた《感じない》の23.1%を上回る。

(2) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)

■ 《感じる》が約3割を占める。

問5 (2) 仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか？

※専業の主婦・主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。



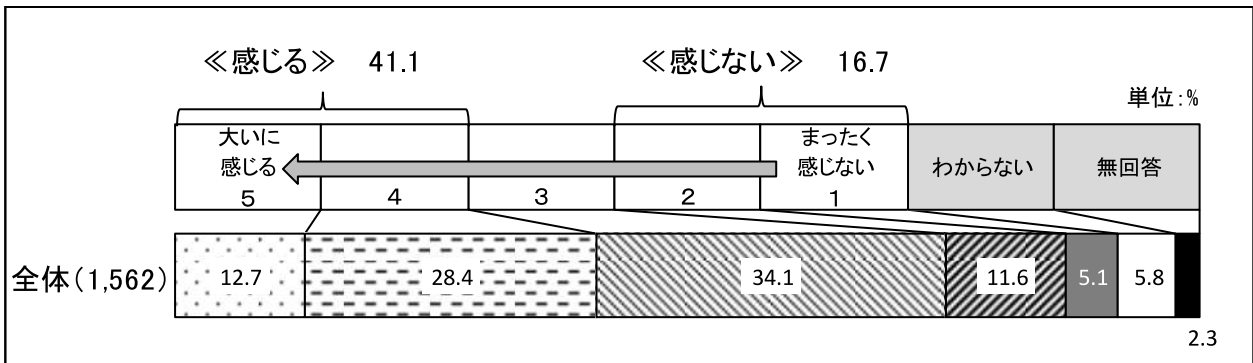
仕事と生活とのバランスが取れていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《感じる》は28.5%と約3割を占め、「1」と「2」を合わせた《感じない》の25.5%とほぼ同様の回答率となっている。

（３）仕事のやりがい

■ 《感じる》が約４割を占める。

問５（３）仕事に、やりがいや充実感を感じますか？

※専業の主婦・主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。

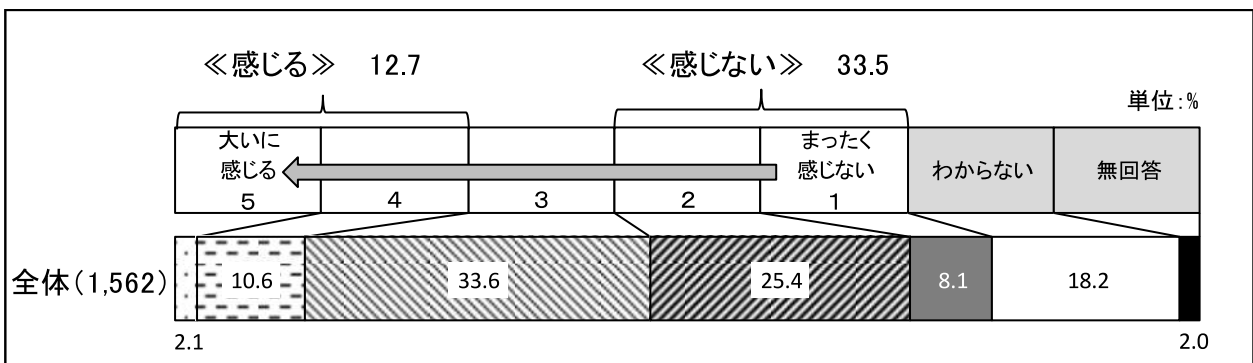


仕事に、やりがいや充実感を感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は41.1%と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の16.7%を上回る。

（４）まちの産業

■ 《感じない》が３割台半ばを占める。

問５（４）荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？

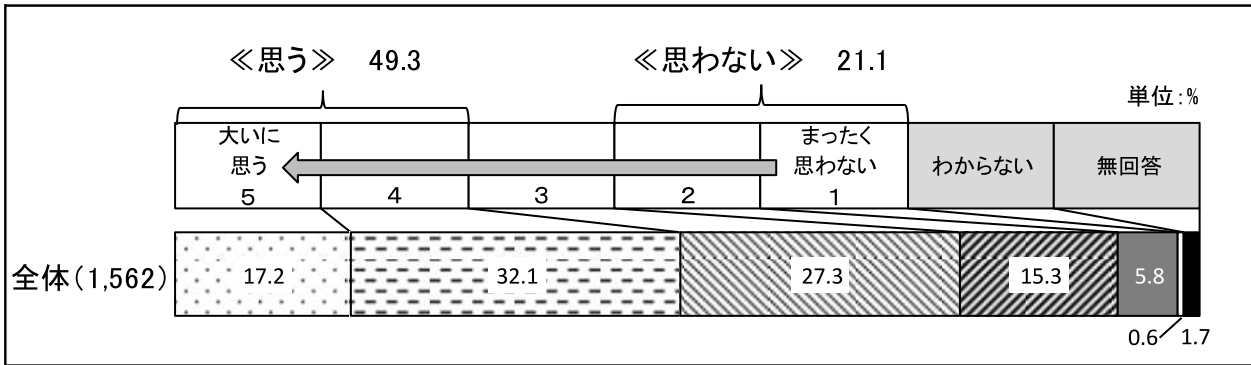


荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は33.5%と３割台半ばを占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の12.7%を上回る。

（５）買い物の利便性

■ 《思う》が約５割を占める。

問５（５） お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？

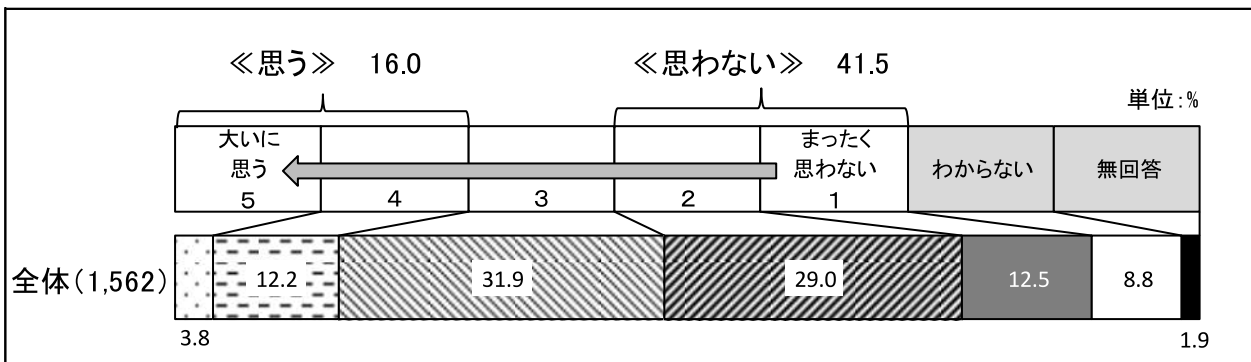


お住まいの地域での買い物が便利かどうか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《思う》は49.3%と約５割を占め、「１」と「２」を合わせた《思わない》の21.1%を上回る。

（６）まちの魅力

■ 《思わない》が約４割を占める。

問５（６） 荒川区は、区外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思いますか？

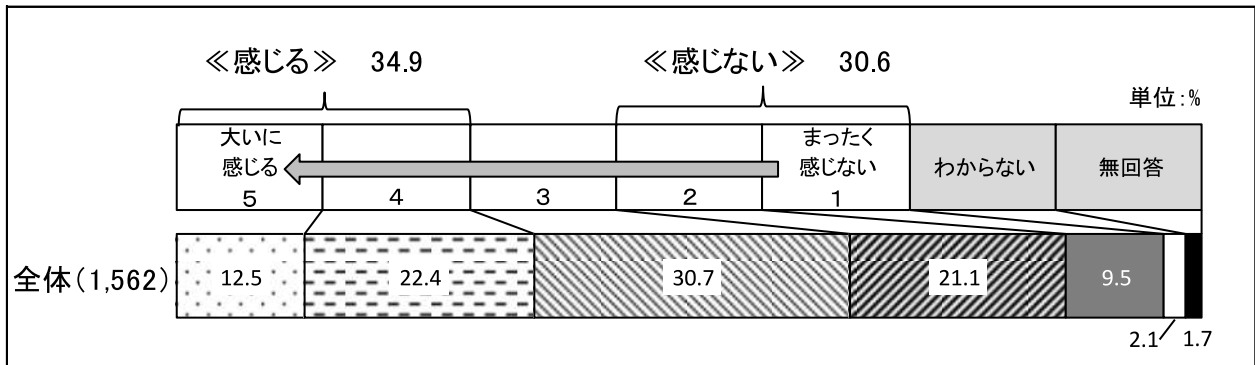


荒川区は、区外から人が訪れたくなる魅力のあるまちだと思うか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《思わない》は41.5%と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた《思う》の16.0%を上回る。

（７）生活のゆとり

■ 《感じる》が３割台半ばを占める。

問５（７）経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか？

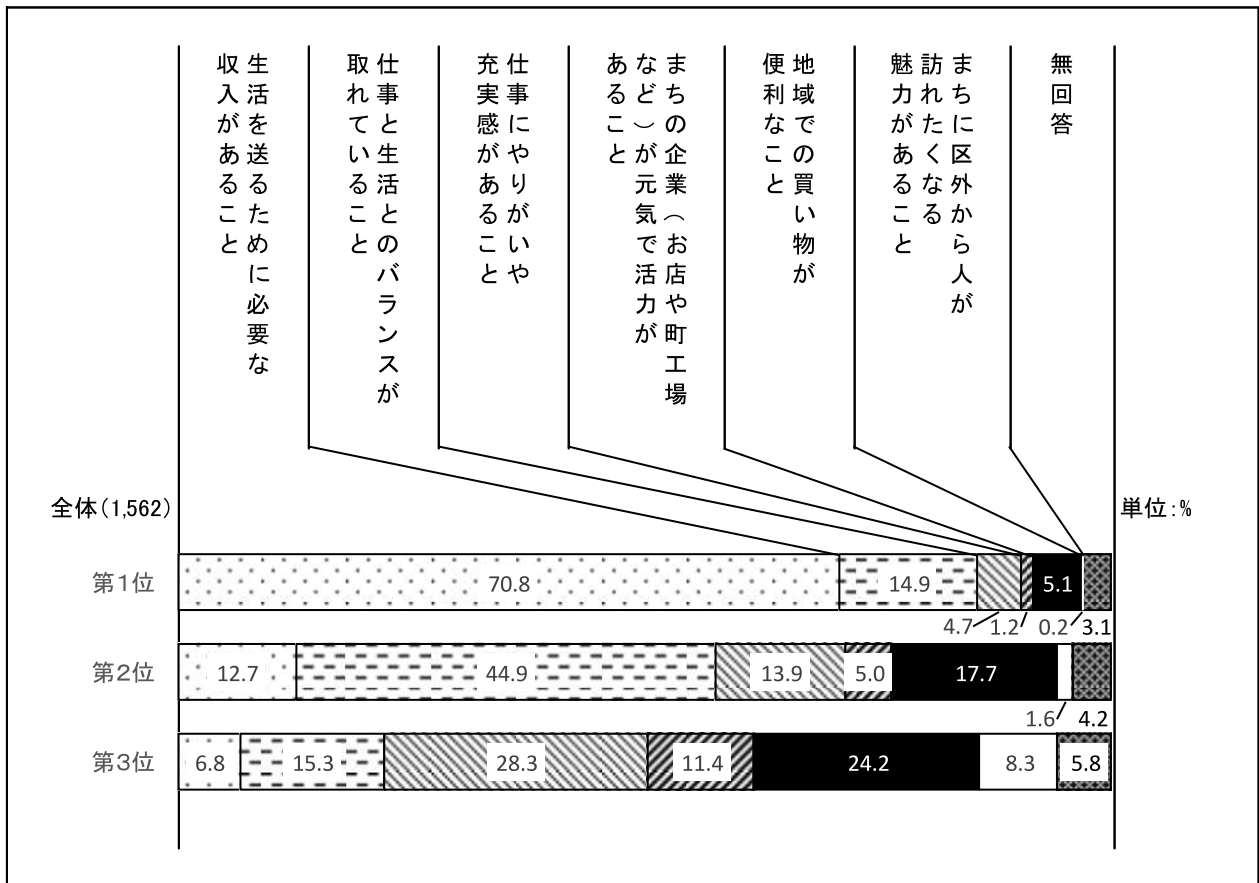


経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は34.9%と３割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の30.6%を上回る回答率となっている。

(8) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- <第1位> 「生活を送るために必要な収入があること」が約7割。
- <第2位> 「仕事と生活とのバランスが取れていること」4割台半ば。
- <第3位> 「仕事にやりがいや充実感があること」が約3割。

問6 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「生活を送るために必要な収入があること」が70.8%で最も高く、次いで「仕事と生活とのバランスが取れていること」は14.9%で続く。第2位として選択した項目は「仕事と生活とのバランスが取れていること」が44.9%で最も高く、第3位として選択した項目は「仕事にやりがいや充実感があること」が28.3%で最も高い結果となった。

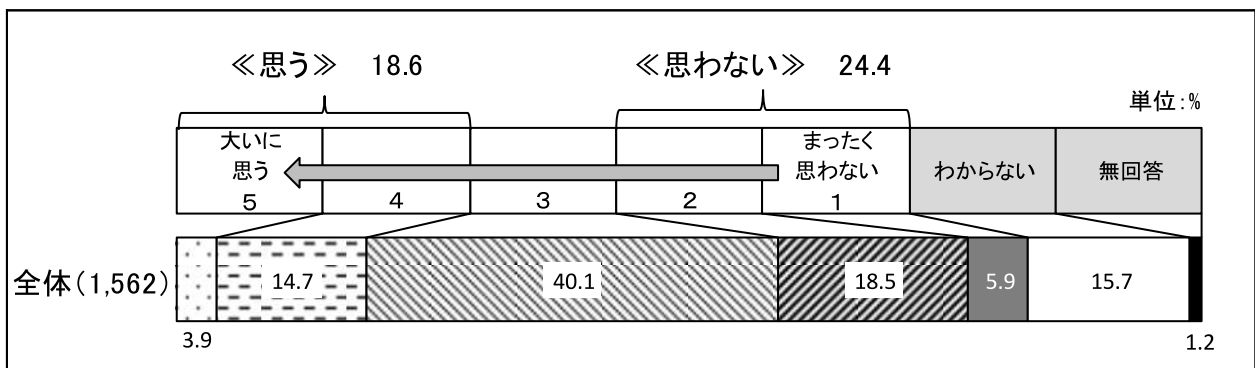
4. 環境

(1) 施設のバリアフリー

■ 《思わない》が2割台半ばを占める。

問7 (1) お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思いますか？

※バリアフリーとは、障がい者や高齢者が生活をする上で支障がないよう、建物の段差等を解消することを指します。

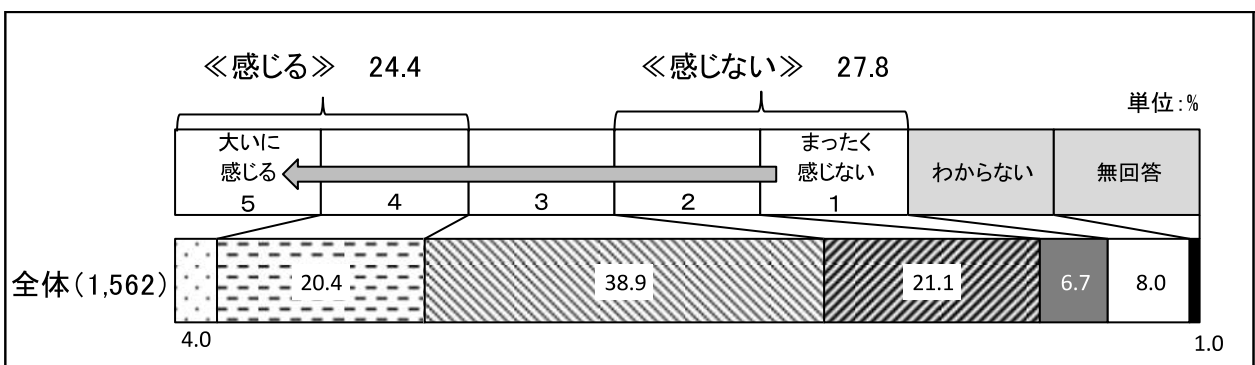


お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思うか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた《思わない》は24.4%と2割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた《思う》の18.6%を上回る。

(2) 心のバリアフリー

■ 《感じない》が約3割を占める。

問7 (2) お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じますか？



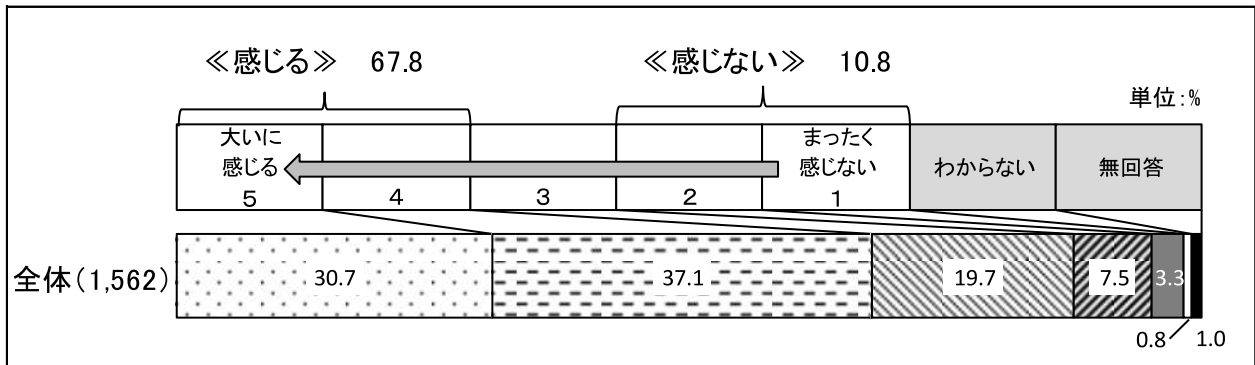
お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた《感じない》は27.8%と約3割を占め、「5」と「4」を合わせた《感じる》の24.4%を上回る。

（３）交通利便性

■ 《感じる》が約７割を占める。

問７（３） お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？

※ここでの交通には、交通機関、自転車、自動車や徒歩での移動などを含みます。

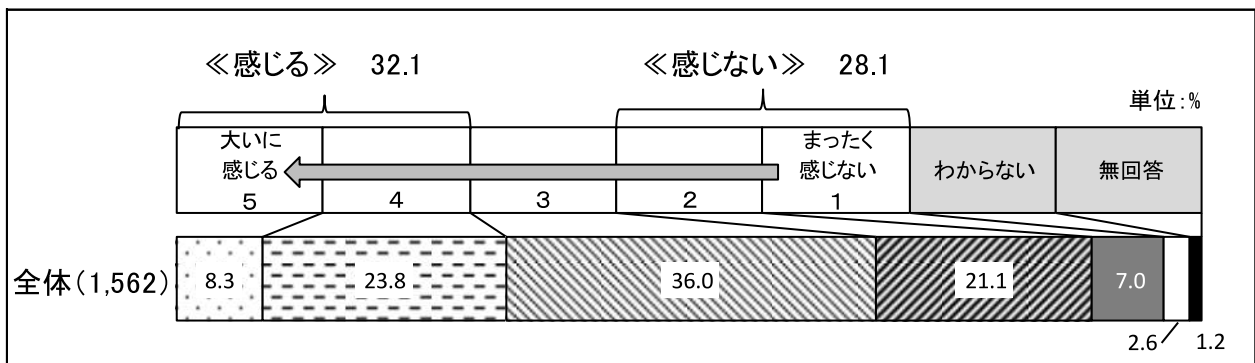


お住まいの地域は交通の便が良いと感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は67.8%と約７割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じる》の10.8%を上回る。

（４）まちなみの良さ

■ 《感じる》が約３割を占める。

問７（４） お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？



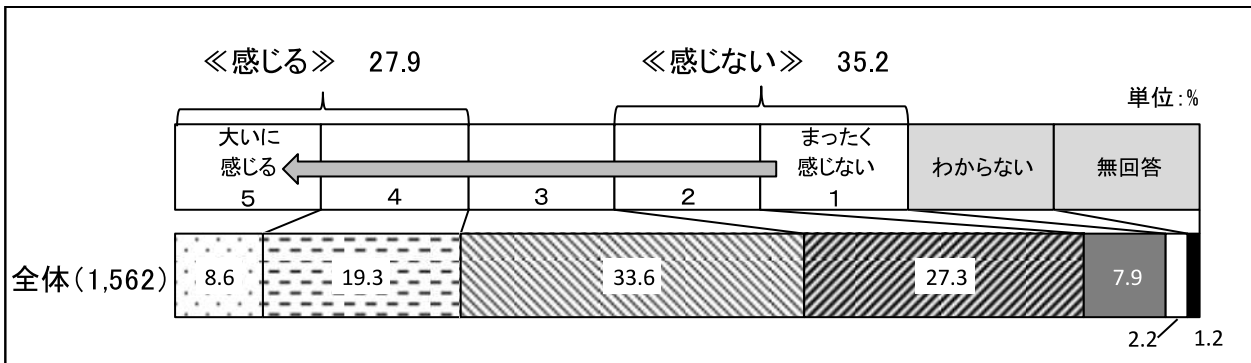
お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は32.1%と約３割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じる》の28.1%を上回る。

（５）周辺環境の快適さ

■ 《感じない》が３割台半ばを占める。

問７（５） お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？

※ここでの不快さには、放置自転車、ポイ捨てなどを含みます。

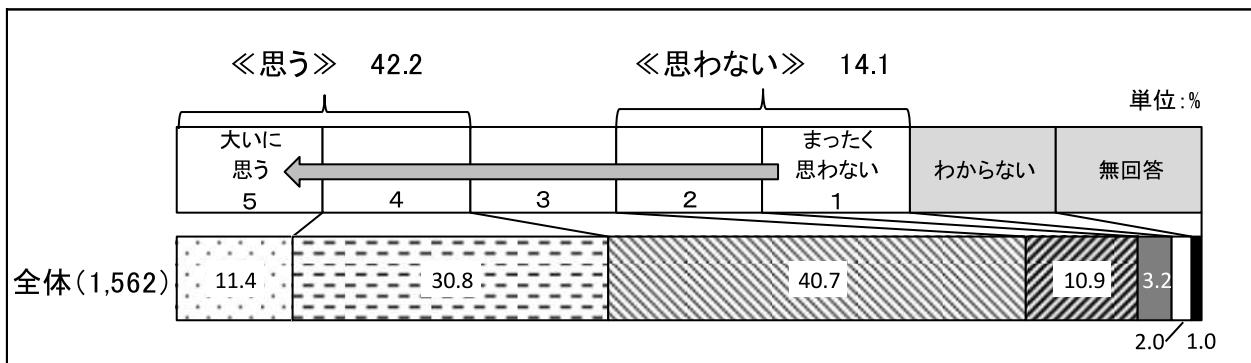


お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は 35.2%と３割台半ばを占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の 27.9%を上回る。

（６）持続可能性

■ 《思う》が約４割を占める。

問７（６） あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？

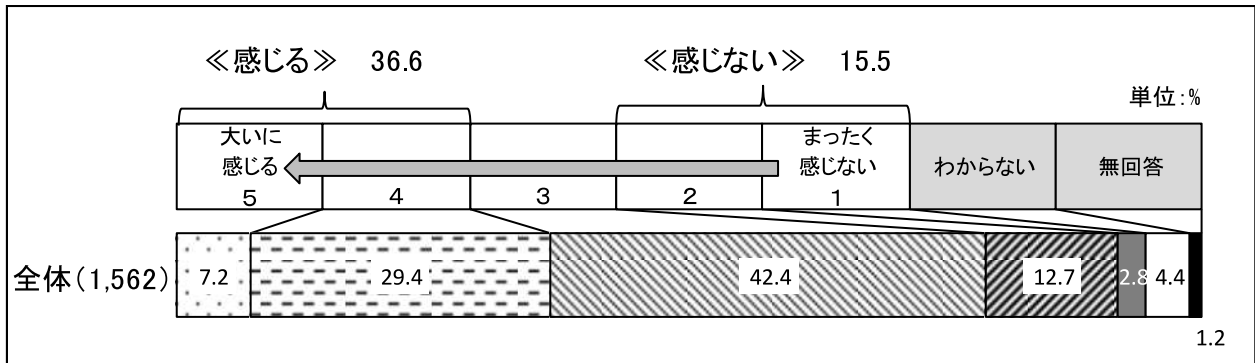


あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思うか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《思う》は 42.2%と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた《思わない》の 14.1%を上回る。

（７）生活環境の充実

■ 《感じる》が約４割を占める。

問７（７） お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？

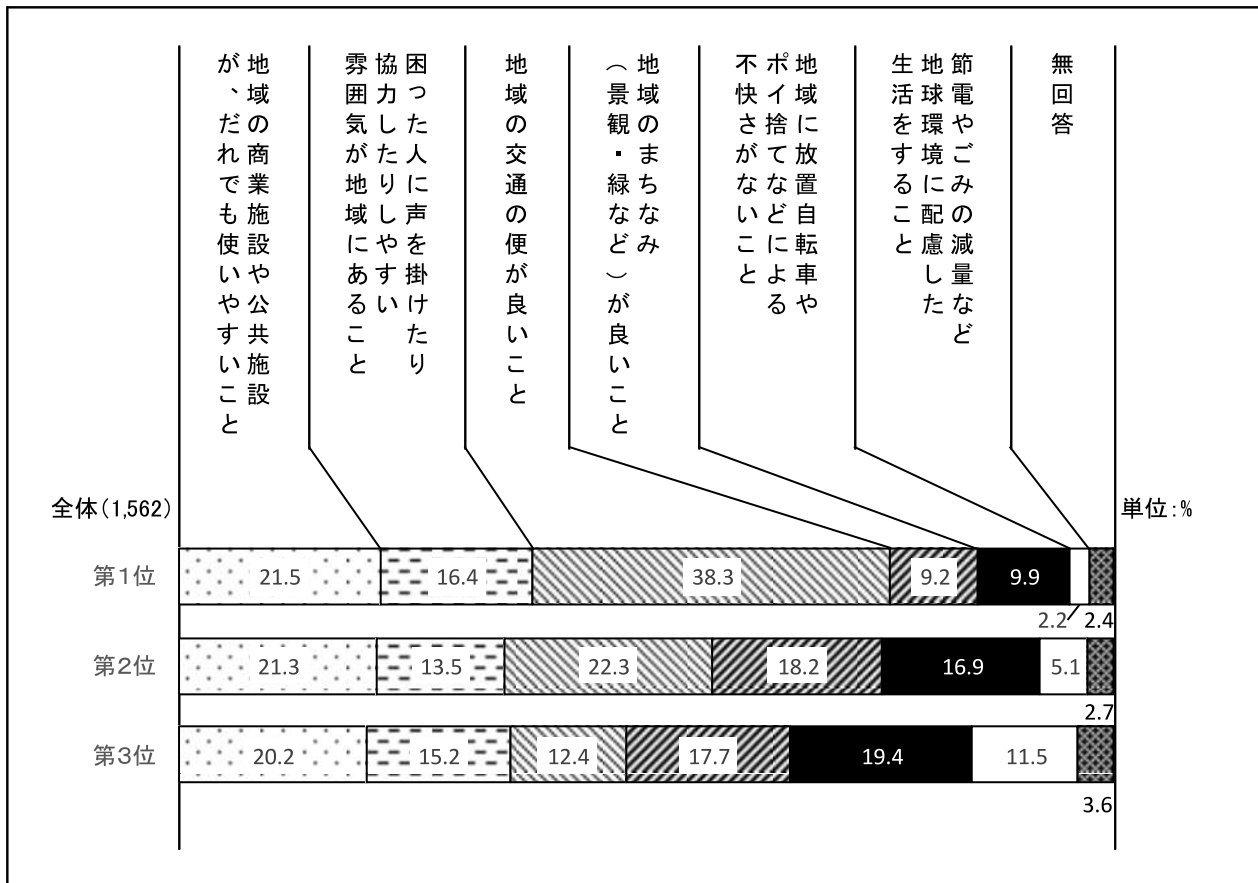


お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は36.6%と約４割を占め、「１」と「２」を合わせた《感じない》の15.5%を上回る。

(8) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- <<第1位>> 「地域の交通の便が良いこと」が約4割。
- <<第2位>> 「地域の交通の便が良いこと」が約2割。
- <<第3位>> 「地域の商業施設や公共施設が、だれでも使いやすいこと」が約2割。

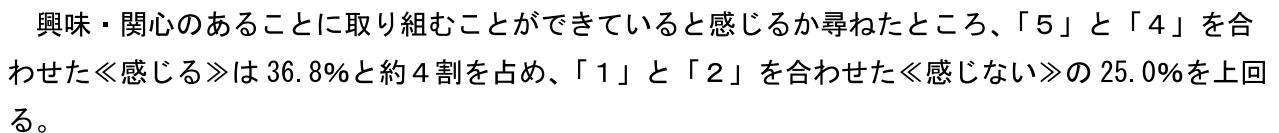
問8 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「地域の交通の便が良いこと」が38.3%で最も高く、次いで「地域の商業施設や公共施設が、だれでも使いやすいこと」は21.5%で続く。また、第2位として選択した項目は「地域の交通の便が良いこと」が22.3%で最も高く、第3位として選択した項目は「地域の商業施設や公共施設が、だれでも使いやすいこと」が20.2%で最も高い結果となった。

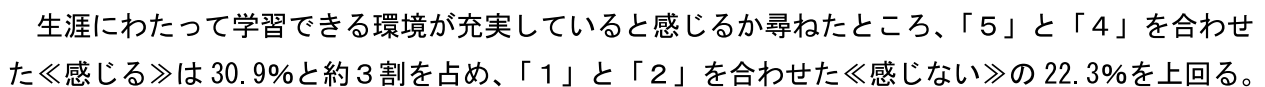
(1) 興味・関心事への取組

問9 (1) 興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？



■ 《感じる》が約3割を占める。

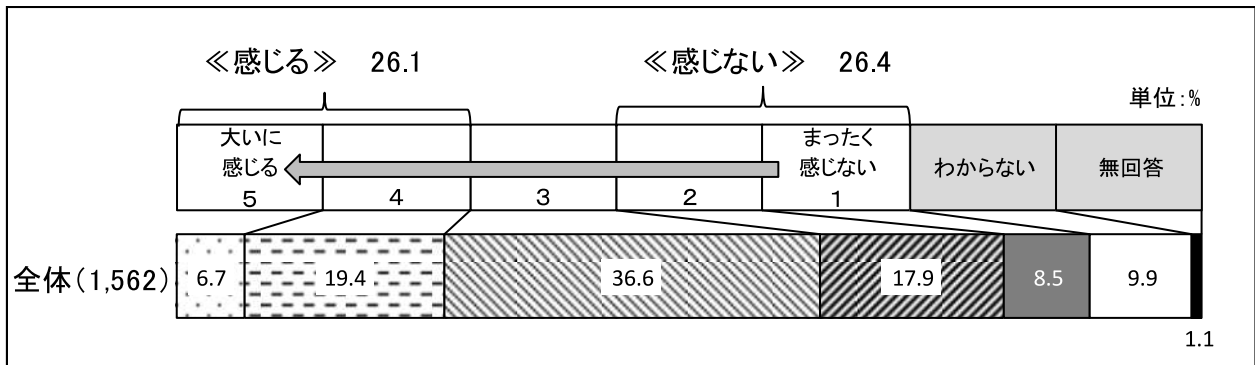
※生涯にわたって学習できる環境とは、図書館や学習施設、スポーツ施設など、だれもが利用できる施設が整備され、学びやスポーツなどができるような環境のことを指します。



（３）地域への愛着

■ 《感じない》が２割台半ばを占める。

問９（３）荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？

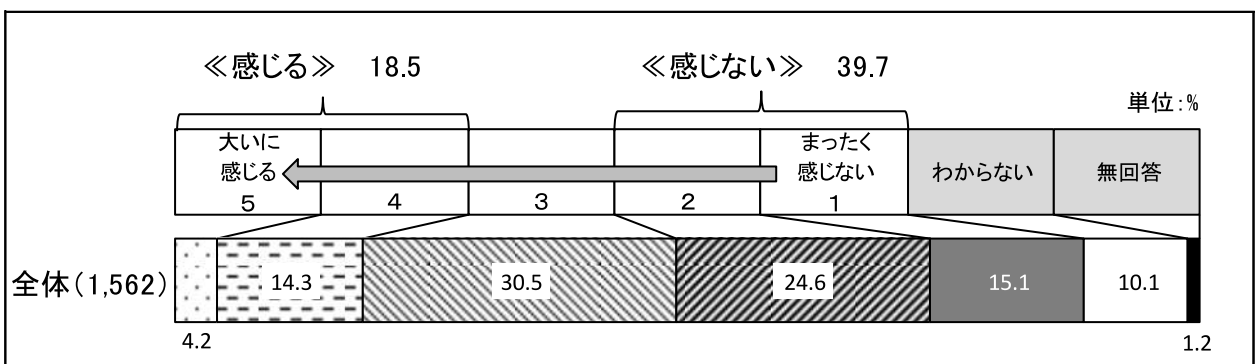


荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は26.4%と２割台半ばを占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の26.1%とほぼ同様の回答率となっている。

（４）地域の人との交流の充実

■ 《感じない》が約４割を占める。

問９（４）お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？

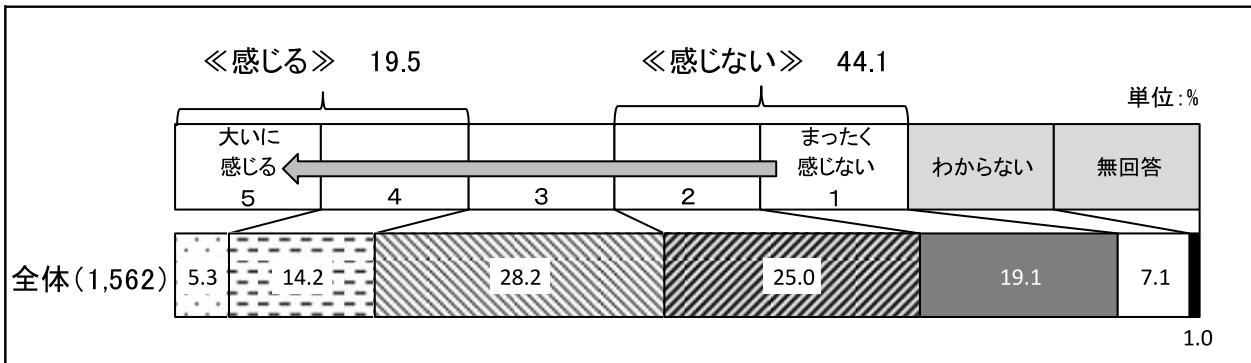


お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は39.7%と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の18.5%を上回る。

（５）地域に頼れる人がいる実感

■ 《感じない》が４割台半ばを占める。

問９（５）お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？

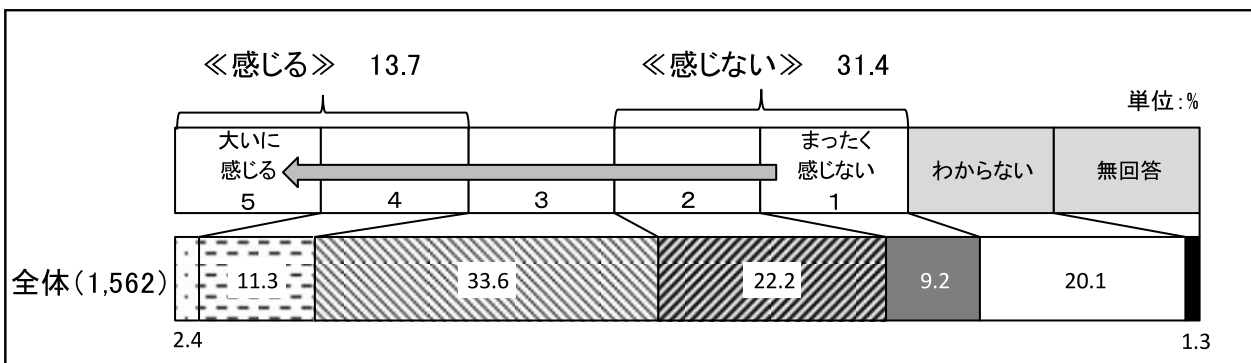


お住まいの地域に頼れる人がいると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は 44.1%と 4 割台半ばを占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の 19.5%を上回る。

（６）文化的寛容性

■ 《感じない》が約３割を占める。

問９（６）お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか？

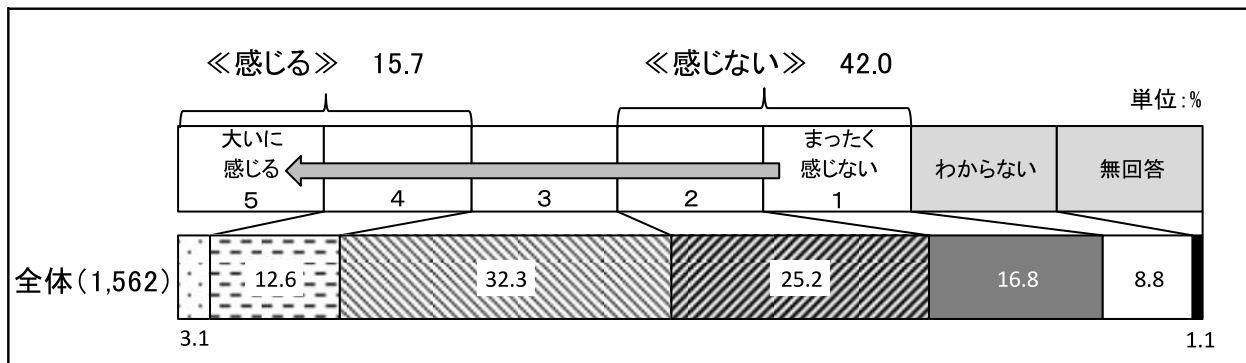


お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は 31.4%と約 3 割を占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の 13.7%を上回る。

（７）充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感

■ 《感じない》が約４割を占める。

問９（７）充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？

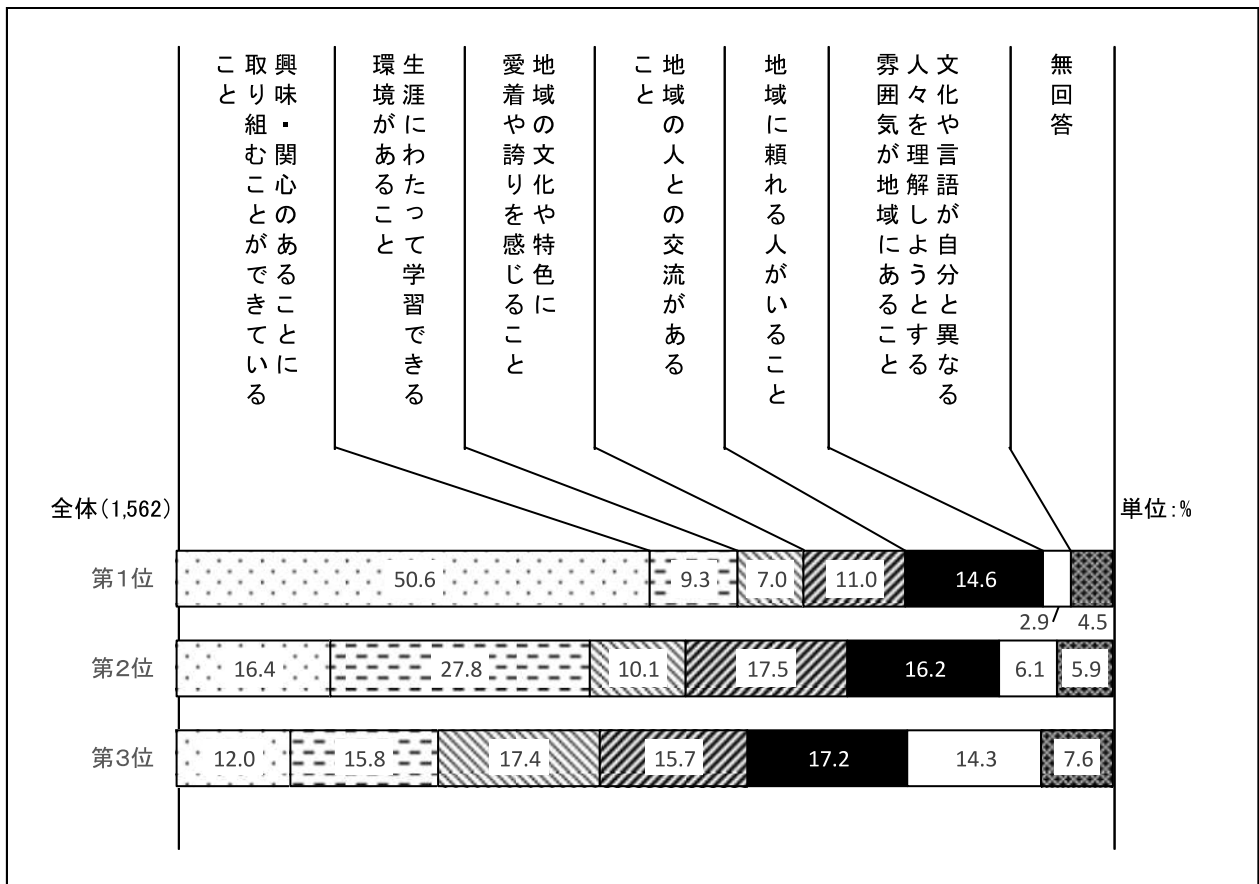


充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は42.0%と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の15.7%を上回る。

（８）幸せにとって特に重要だと思うもの

- <第１位> 「興味・関心のあることに取り組むことができること」が約５割。
- <第２位> 「生涯にわたって学習できる環境があること」が約３割。
- <第３位> 「地域の文化や特色に愛着や誇りを感じることに」が約２割。

問 10 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第１位から第３位までお選びください。



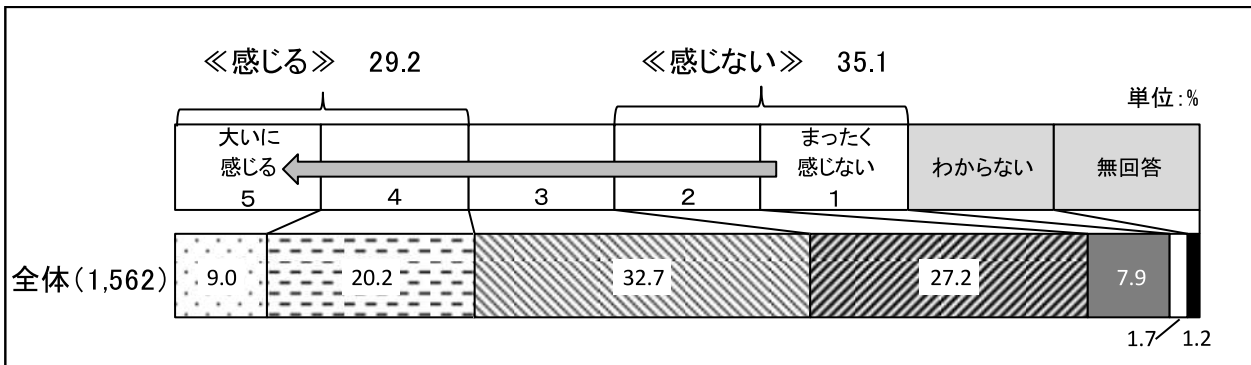
あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第１位として選択した項目は「興味・関心のあることに取り組むことができること」が50.6%で最も高く、次いで「地域に頼れる人がいること」は14.6%で続く。また、第２位として選択した項目は「生涯にわたって学習できる環境があること」が27.8%で最も高く、第３位として選択した項目は「地域の文化や特色に愛着や誇りを感じることに」が17.4%で最も高い結果となった。

6. 安全・安心

(1) 防犯性

■ 《感じる》が3割台半ばを占める。

問 11 (1) お住まいの地域で、犯罪への不安を感じますか？

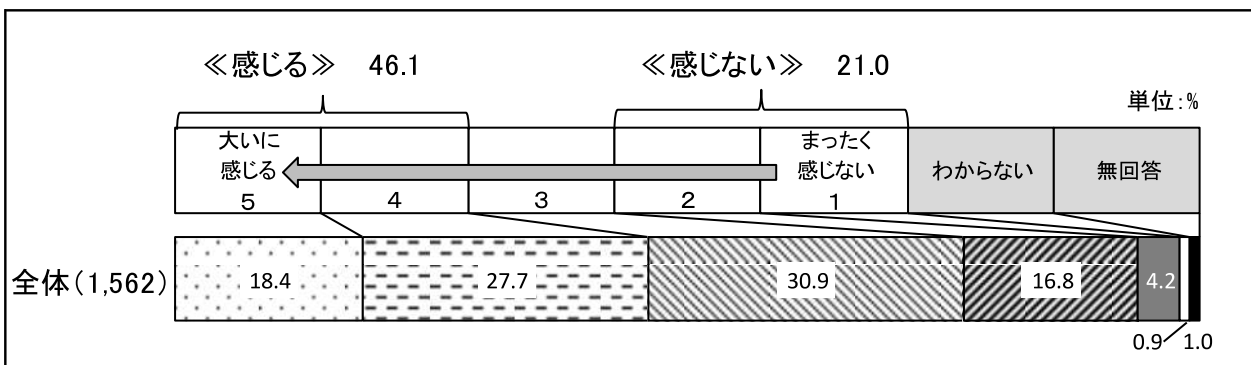


お住まいの地域で、犯罪への不安を感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた《感じない》は35.1%と3割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた《感じる》の29.2%を上回る。

(2) 交通安全性

■ 《感じる》が4割台半ばを占める。

問 11 (2) お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じますか？

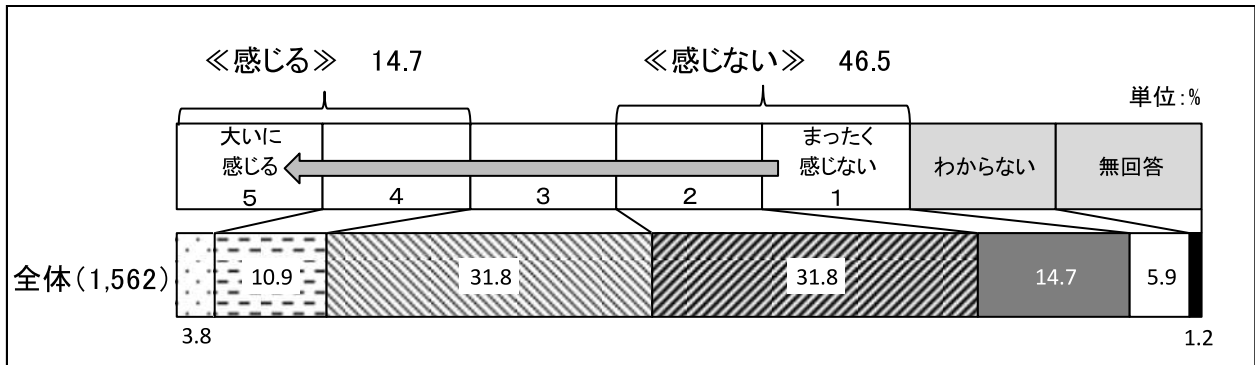


お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《感じる》は46.1%と4割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた《感じない》の21.0%を上回る。

(3) 生活安全性

■ 《感じない》が4割台半ばを占める。

問 11 (3) 家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じますか？

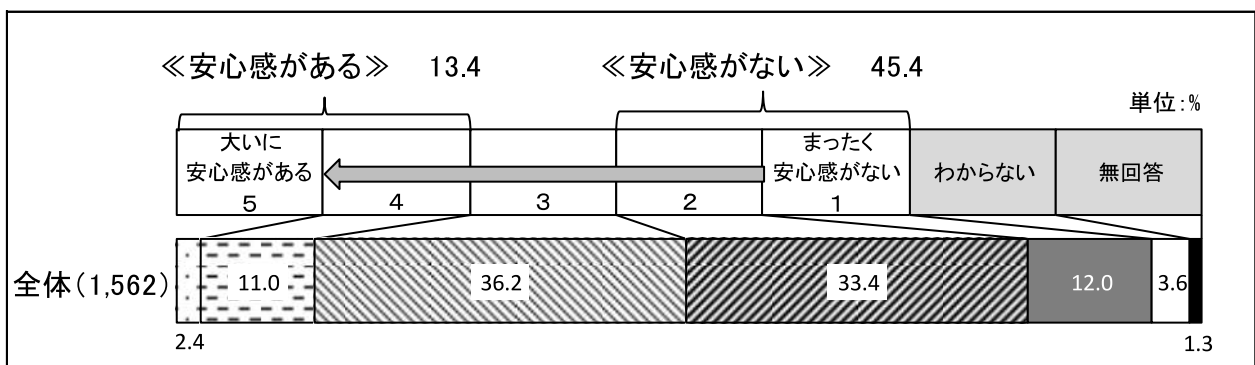


家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた《感じない》は46.5%と4割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた《感じる》の14.7%を上回る。

(4) 個人の備え

■ 《安心感がない》が4割台半ばを占める。

問 11 (4) 災害（地震・火災・風水害）に対する備えを十分にしている安心感がありますか？

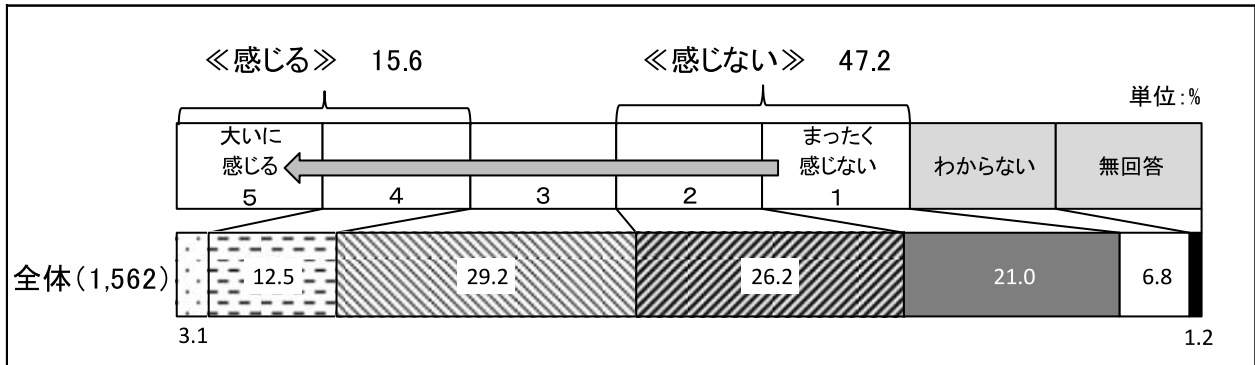


災害（地震・火災・風水害）に対する備えを十分にしている安心感があるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた《安心感がない》は45.4%と4割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた《安心感がある》の13.4%を上回る。

（５）災害時の絆・助け合い

■ 《感じない》が約５割を占める。

問 11（５）災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じますか？

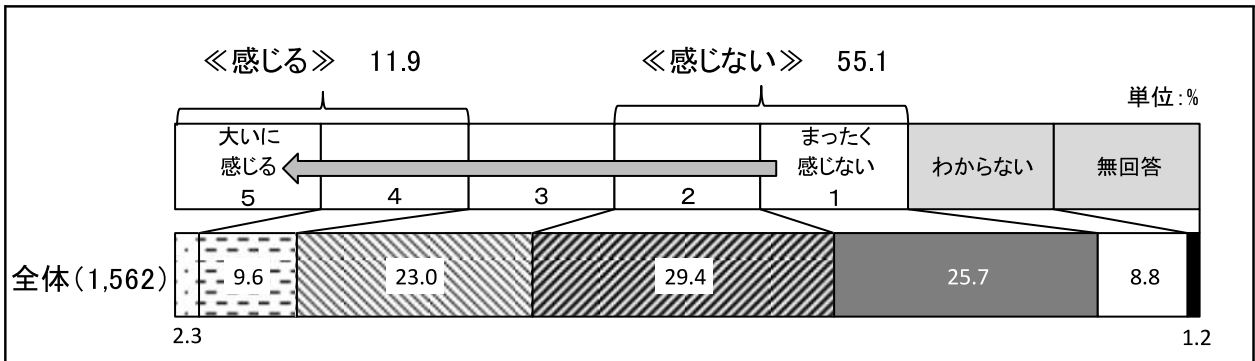


災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は 47.2%と約５割を占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の 15.6%を上回る。

（６）防災性

■ 《感じない》が５割台半ばを占める。

問 11（６）お住まいの地域は災害に強いと感じますか？

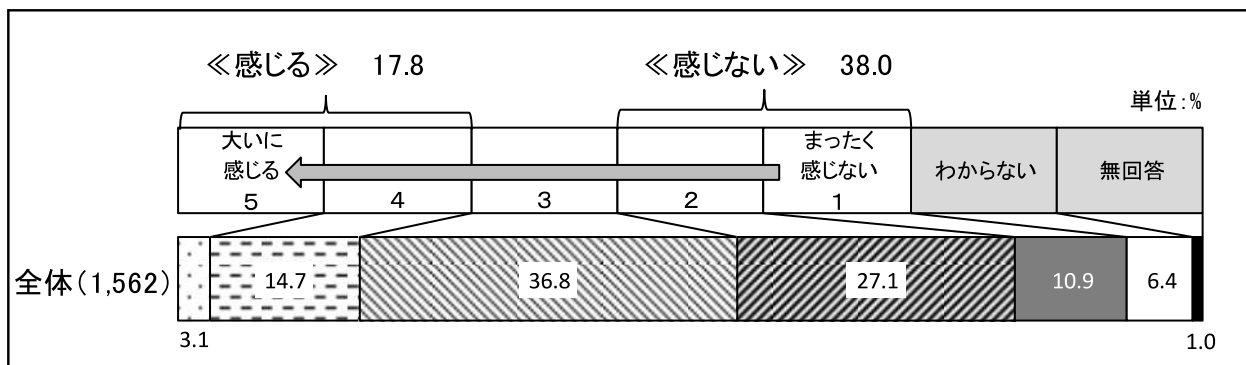


お住まいの地域は災害に強いと感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は 55.1%と５割台半ばを占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の 11.9%を上回る。

（７）安全・安心の実感

■ 《感じない》が約４割を占める。

問 11（７）お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？

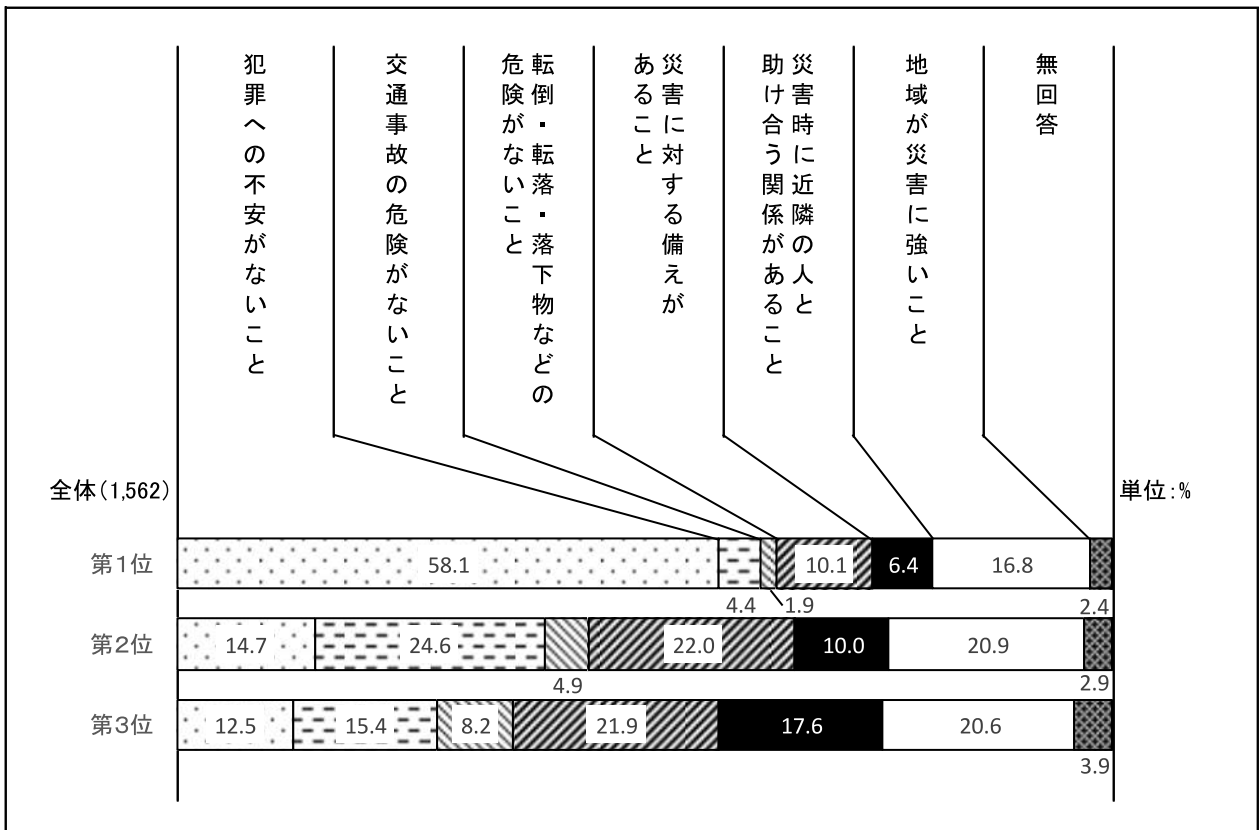


お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じるか尋ねたところ、「１」と「２」を合わせた《感じない》は 38.0%と約４割を占め、「５」と「４」を合わせた《感じる》の 17.8%を上回る。

(8) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- <第1位> 「犯罪への不安がないこと」が約6割。
- <第2位> 「交通事故の危険がないこと」が2割台半ば。
- <第3位> 「災害に対する備えがあること」が約2割。

問 12 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「犯罪への不安がないこと」が58.1%で最も高く、次いで「地域が災害に強いこと」は16.8%で続く。また、第2位として選択した項目は「交通事故の危険がないこと」が24.6%で最も高く、第3位として選択した項目は「災害に対する備えがあること」が21.9%で最も高い結果となった。

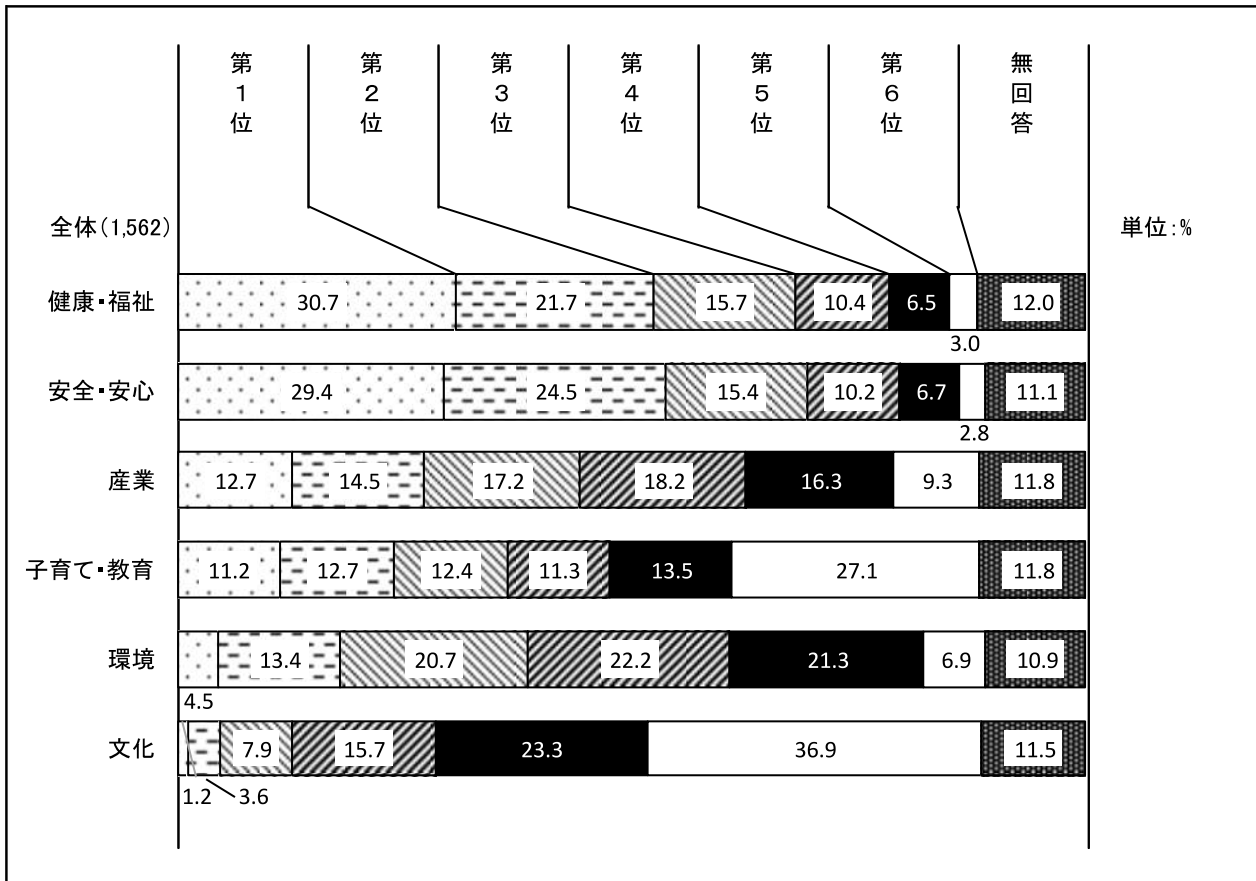
7. 総合

(1) 6つの分野について幸せにとって重要だと思う順位

(健康・福祉、子育て・教育、産業、環境、文化、安全・安心の6分野について)

■ 《第一位》 「健康・福祉」が約3割。

問 13 6つの分野について、あなたの幸せにとって重要だと思う順に、順位（1～6位）を記入してください。

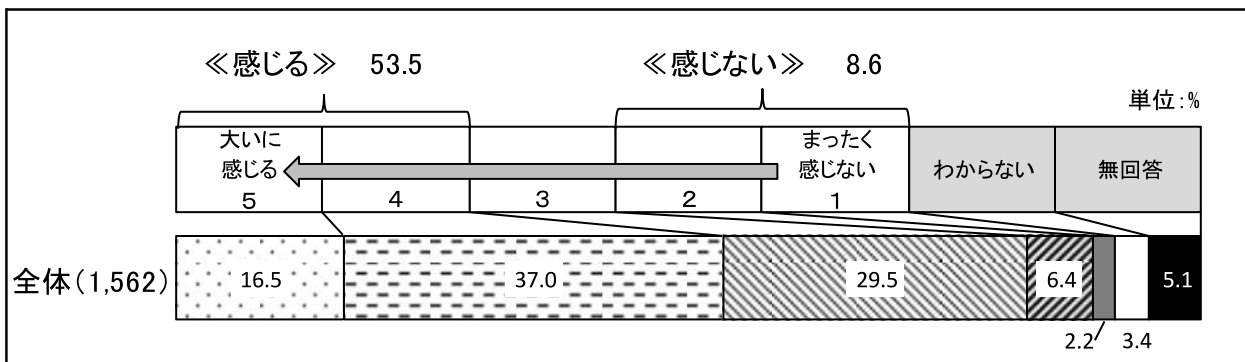


第1位で挙げられた分野で、最も割合が高かったのは「健康・福祉」で30.7%となっている。次いで「安全・安心」(29.4%)が続き、「産業」(12.7%)、「子育て・教育」(11.2%)、「環境」(4.5%)、「文化」(1.2%)の順となっている。

（２）幸福実感

■ 《感じる》が５割台半ばを占める。

問 14 あなたは、幸せだと感じますか？



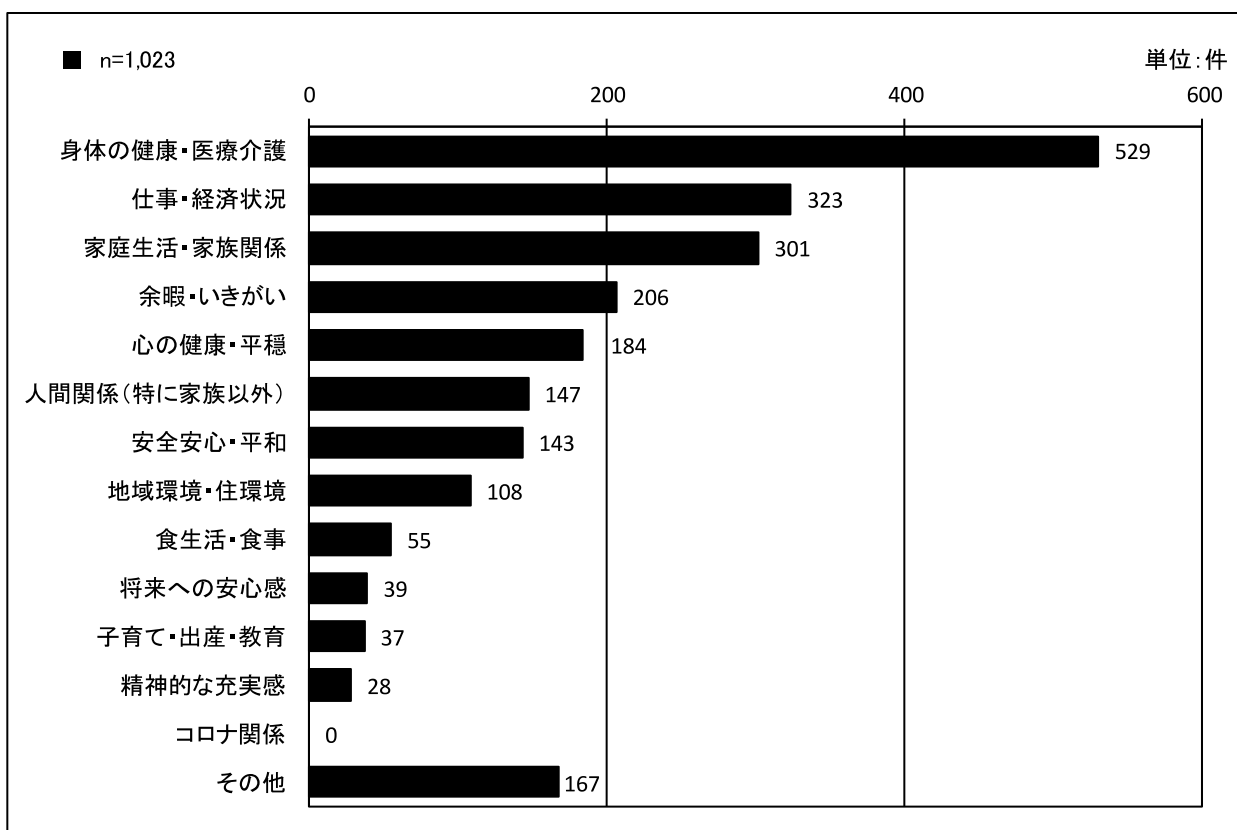
幸せだと感じるか尋ねたところ、「５」と「４」を合わせた《感じる》は53.5%と５割台半ばを占め、「１」と「２」を合わせた《感じる》の8.6%を大きく上回る。

8. 自由記述

(1) 幸せにとって重要だと思うこと

- 約5割の人が「身体の健康・医療介護」に関する内容を回答。次いで「仕事・経済状況」に関する内容を回答した人は3割。

問 15 あなたの幸せにとって重要だと思うことは何ですか？



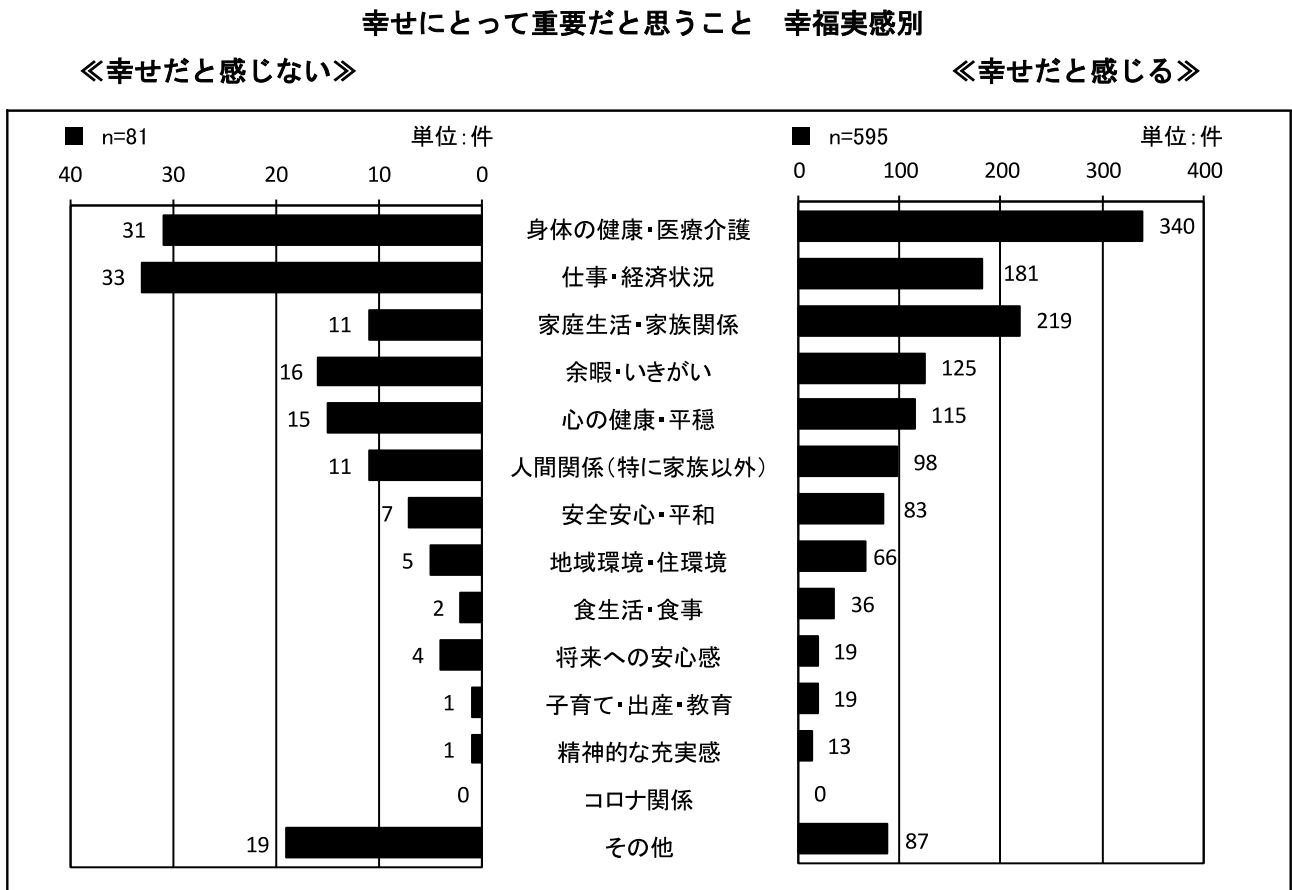
問 15 への回答内容を 14 の分野（その他を含む）に分類して集計を行った。回答内容によっては複数のカテゴリーにあてはまる場合があるため、回答数は 2,267 件（回答者数は 1,023 人）であった。

このうち「身体の健康・医療介護」に関する記述は 529 件であり、問 15 を回答した回答者の 51.7% を占めている。次いで「仕事・経済状況」に関する記述は 323 件（31.6%）、「家庭生活・家族関係」に関する記述は 301 件（29.4%）となっている。

問 15「幸せにとって重要だと思うこと」の回答分類を、《幸せだと感じない》（問 14 で「1」または「2」と回答）と、《幸せだと感じる》（問 14 で「5」または「4」と回答）に分けて比べる。

《幸せだと感じない》の回答者数は 156 件（回答者は 81 人）であった。

《幸せだと感じる》の回答者数は 1,401 件（回答者は 595 人）であった。



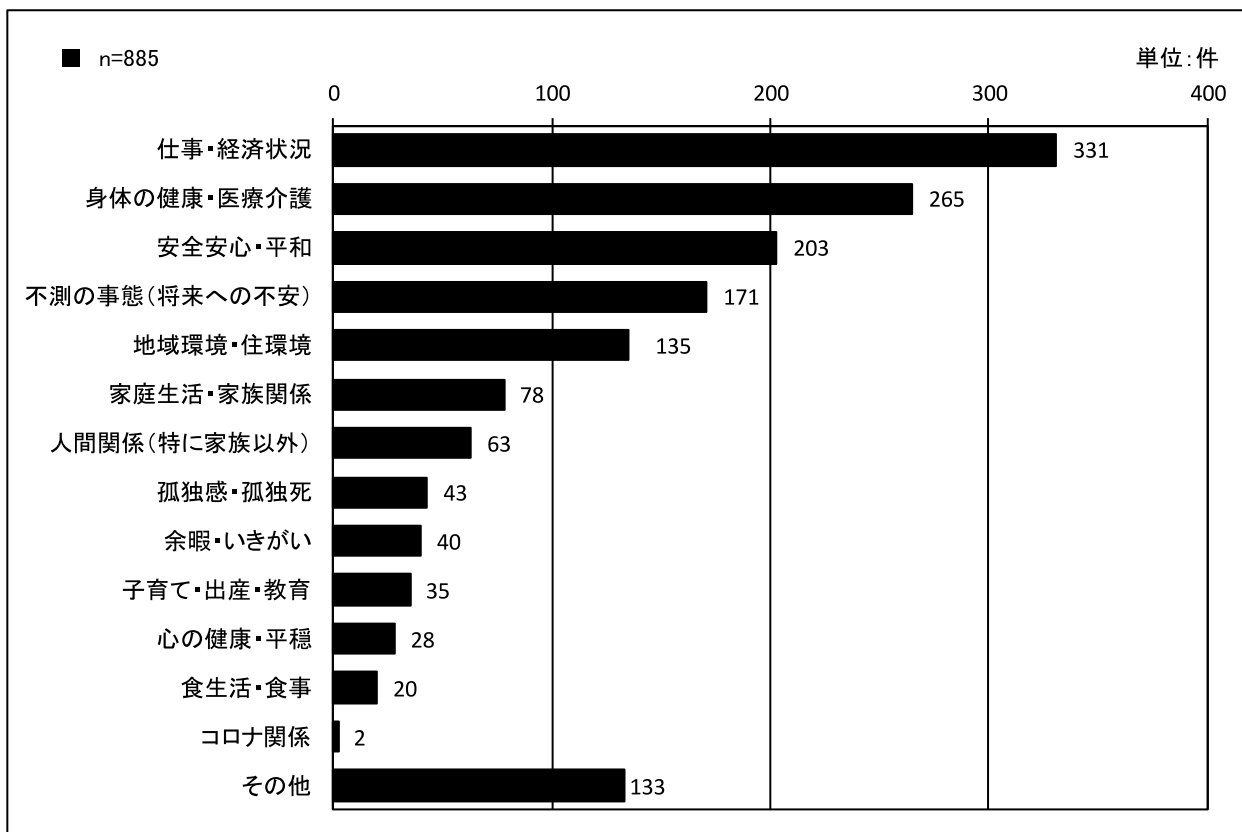
《幸せだと感じない》回答者のうち、「仕事・経済状況」に関する記述は 33 件（40.7%）となっている。次いで「身体の健康・医療介護」に関する記述は 31 件（38.3%）、「余暇・いきがい」に関する記述は 16 件（19.8%）となっている。

《幸せだと感じる》回答者のうち、「身体の健康・医療介護」に関する記述は 340 件（57.1%）となっている。次いで、「家庭生活・家族関係」に関する記述は 219 件（36.8%）、「仕事・経済状況」に関する記述は 181 件（30.4%）となっている。

（２）不幸・不安だと感じること

- 約４割の人が「仕事・経済状況」に関する内容を回答。次いで身体の健康・医療介護」に関する内容を回答した人が約３割。

問 16 あなたにとって不幸だと感じることや、生活をしていく上で不安だと感じることは何ですか？



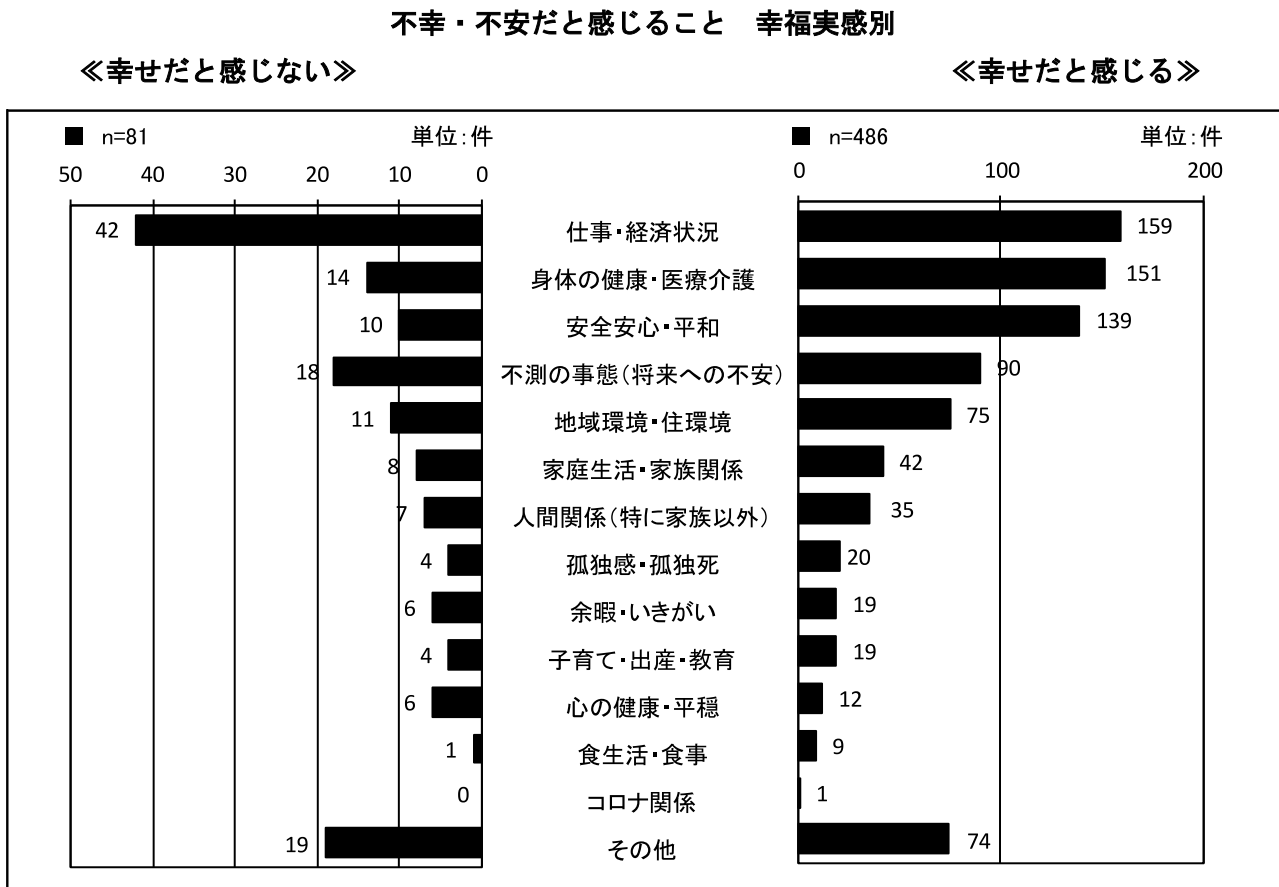
問 16 への回答内容を 14 の分野（その他を含む）に分類して集計を行った。回答内容によっては複数のカテゴリーにあてはまる場合があるため、回答数は 1,547 件（回答者数は 885 人）であった。

このうち「仕事・経済状況」に関する記述は 331 件であり、問 16 を回答した回答者の 37.4% を占めている。次いで「身体の健康・医療介護」に関する記述は 265 件（29.9%）、「安全安心・平和」に関する記述は 203 件（22.9%）となっている。

問 16「不幸・不安だと感じること」の回答分類を、《幸せだと感じない》（問 14 で「1」または「2」と回答）と、《幸せだと感じる》（問 14 で「5」または「4」と回答）に分けて比べる。

《幸せだと感じない》の回答者数は 150 件（回答者は 81 人）であった。

《幸せだと感じる》の回答者数は 845 件（回答者は 486 人）であった。



《幸せだと感じない》回答者のうち、「仕事・経済状況」に関する記述は 42 件（51.9%）となっている。次いで、「不測の事態（将来への不安）」に関する記述は 18 件（22.2%）、「身体の健康・医療介護」に関する記述は 14 件（17.3%）となっている。

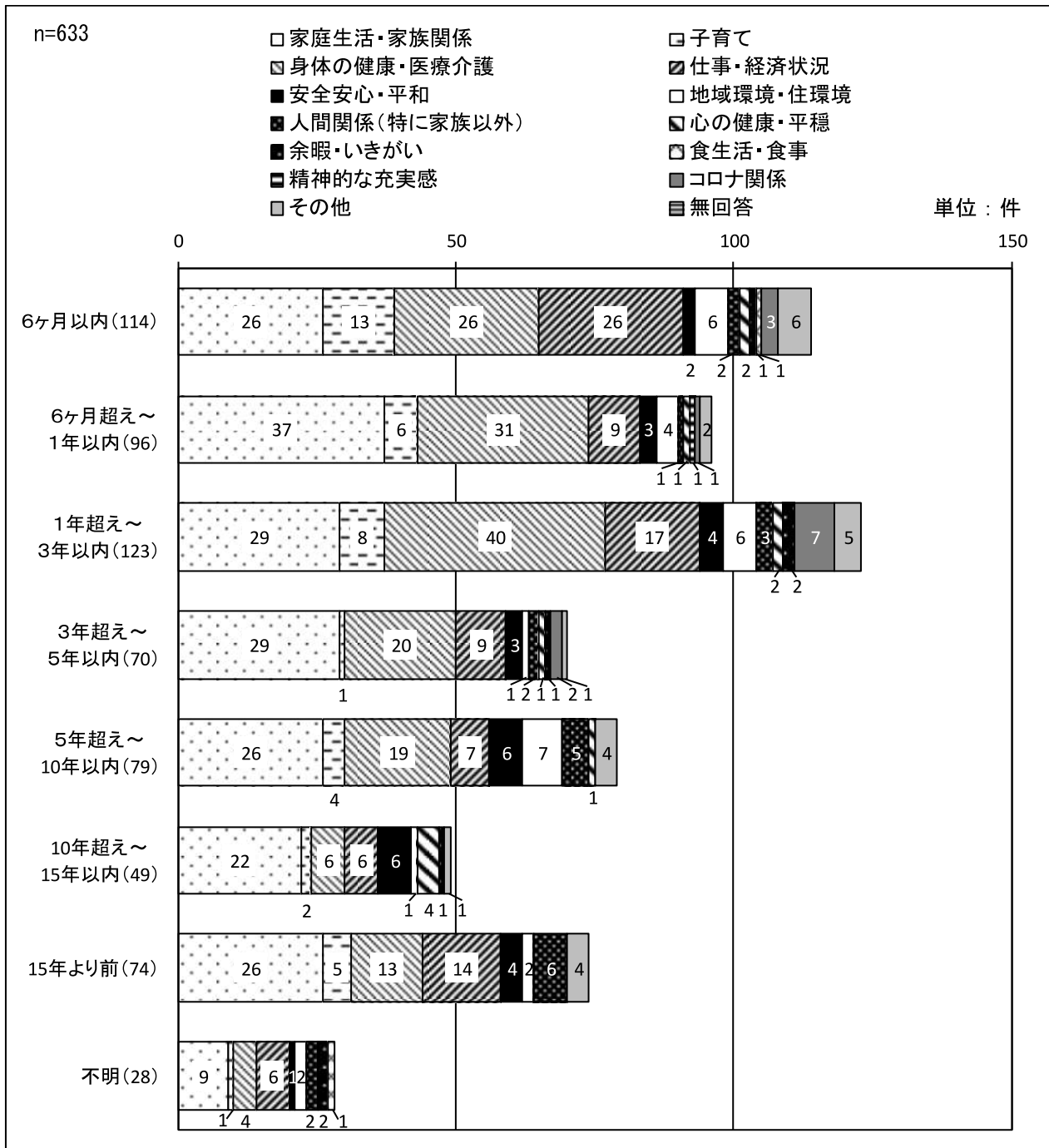
《幸せだと感じる》回答者のうち、「仕事・経済状況」に関する記述は 159 件（32.7%）となっている。次いで「身体の健康・医療介護」に関する記述は 151 件（31.1%）、「安全安心・平和」に関する記述は 139 件（28.6%）となっている。

(3) 人生で影響を与えるような出来事

■ 回答者の約2割の人が「1年超え～3年以内」に起こった出来事を回答。

■ 回答者の約3割の人が「家庭生活・家族関係」に関する出来事を回答。

問17 現在のあなたの人生に影響を与えるような出来事は、いつ起きましたか？どのような出来事がありましたか？それによってどう感じましたか？



人生に影響を与えるような出来事（期間×出来事／回答数）

単位：件

期間 \ 出来事	家庭生活・家族関係	子育て	身体 の健康・医療 介護	仕事・経済 状況	安全安心・平和	地域環境・住環境	人間関係 （特に家族以外）	心の健康・平穏	余暇・いきがい	食生活・食事	精神的な充実感	コロナ関係	その他	無回答	合計
6ヶ月以内	26	13	26	26	2	6	2	2	1	1	0	3	6	0	114
6ヶ月超え～1年以内	37	6	31	9	3	4	1	1	0	0	1	1	2	0	96
1年超え～3年以内	29	8	40	17	4	6	3	2	2	0	0	7	5	0	123
3年超え～5年以内	29	1	20	9	3	1	2	1	1	0	0	2	1	0	70
5年超え～10年以内	26	4	19	7	6	7	5	1	0	0	0	0	4	0	79
10年超え～15年以内	22	2	6	6	6	1	0	4	1	0	0	0	1	0	49
15年より前	26	5	13	14	4	2	6	0	0	0	0	0	4	0	74
不明	9	1	4	6	1	2	2	0	2	1	0	0	0	0	28
合計	204	40	159	94	29	29	21	11	7	2	1	13	23	0	633

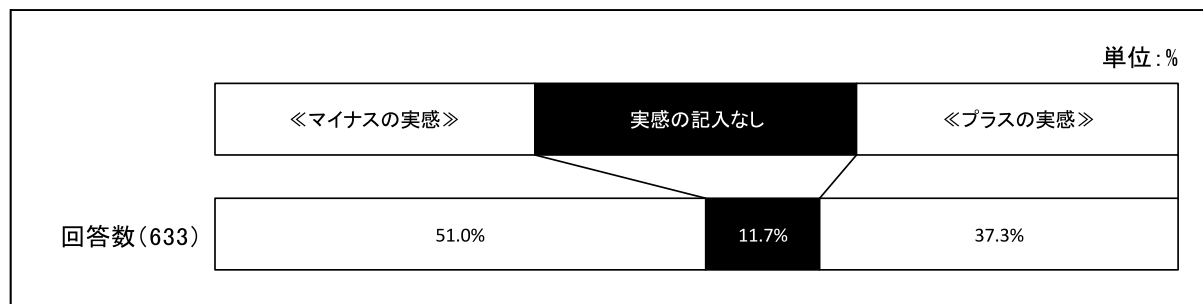
現在の人生に影響を与えるような出来事について、その内容を13の分野（その他を含む）に出来事が起こった時期を7時期に分類して集計を行った。回答者によって複数の回答があったため、回答数は633件（回答者数は512人）であった。

このうち時期は「1年超え～3年以内」の出来事が123件（19.4%）で最も多く、次いで「6ヶ月以内」の出来事は114件（18.0%）と多くなっている。

内容については、「家庭生活・家族関係」に関することが204件（32.2%）で最も多く、次いで「身体・健康・医療介護」に関することは159件（25.1%）と多くなっている。

「その出来事によってどう感じましたか」と尋ねたところ、「悲しかった」、「怖くなった」、「不安を感じた」等ネガティブに感じたとは回答した《マイナスの実感》が51.0%（回答数323件・回答者289人）となっており、「嬉しかった」、「楽しかった」、「安心した」等ポジティブに感じたとは回答した《プラスの実感》の37.3%（回答数236件・回答者数208人）を上回っている。なお、実感がプラス、マイナスのどちらにも含まれない回答や、両方の実感が含まれている回答については、「実感の記入なし」とした。

人生に影響を与えるような出来事（実感別／回答数の割合）



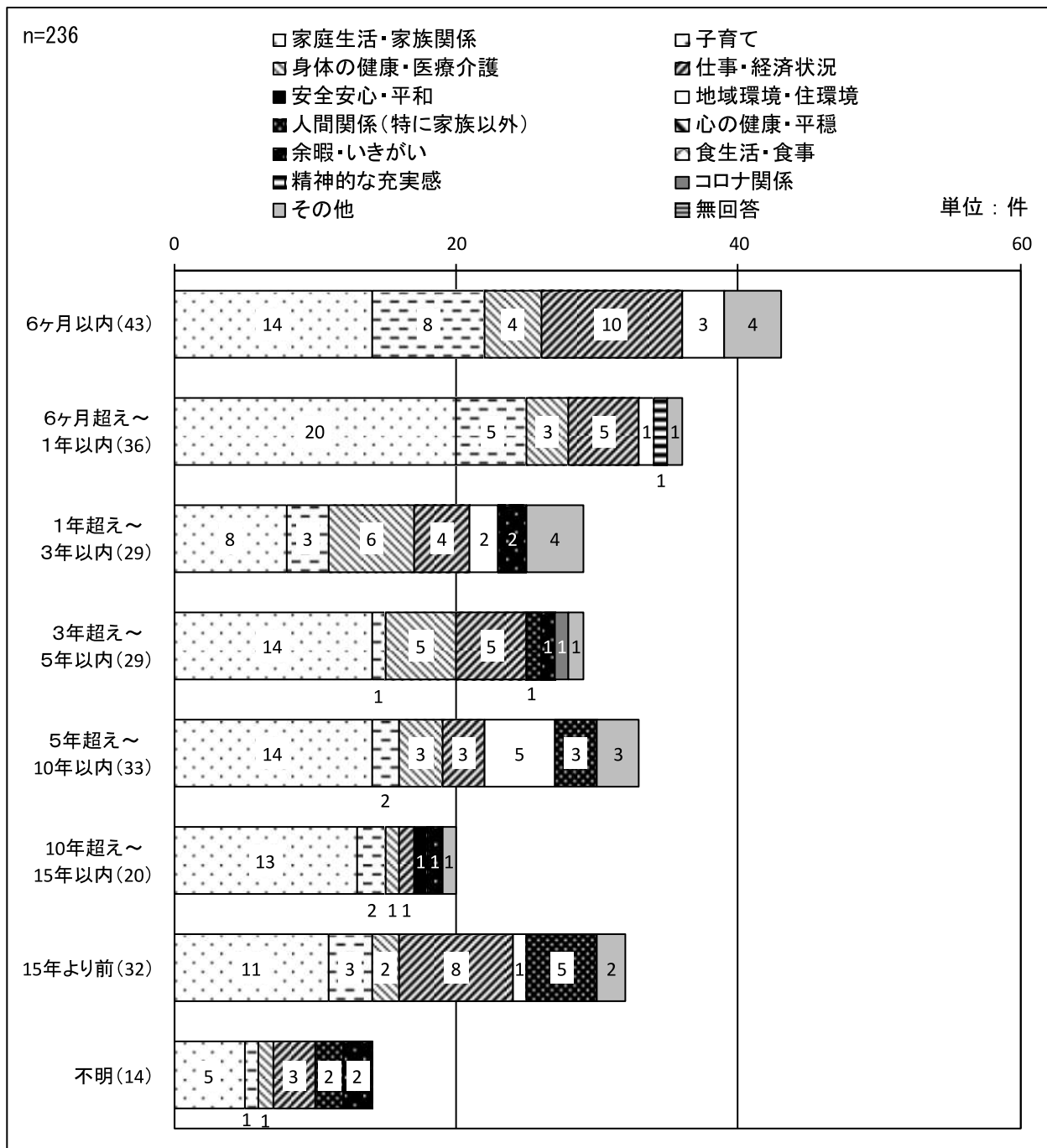
人生に影響を与えるような出来事（実感別×出来事／回答数、回答率）

実感		家庭生活・家族関係	子育て	身体・健康・医療介護	仕事・経済状況	安全安心・平和	地域環境・住環境	(特に人間関係以外)	心の健康・平穩	余暇・いきがい	食生活・食事	精神的な充実感	コロナ関係	その他	無回答	合計
プラスの実感	回答数	99	25	25	39	1	12	11	0	6	0	1	1	16	0	236
	回答率	41.9%	10.6%	10.6%	16.5%	0.4%	5.1%	4.7%	0.0%	2.5%	0.0%	0.4%	0.4%	6.8%	0.0%	100.0%
マイナスの実感	回答数	77	14	115	47	23	14	7	11	0	2	0	10	3	0	323
	回答率	23.8%	4.3%	35.6%	14.6%	7.1%	4.3%	2.2%	3.4%	0.0%	0.6%	0.0%	3.1%	0.9%	0.0%	100.0%
実感なし	回答数	28	1	19	8	5	3	3	0	1	0	0	2	4	0	74
	回答率	37.8%	1.4%	25.7%	10.8%	6.8%	4.1%	4.1%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	2.7%	5.4%	0.0%	100.0%
全体	回答数	204	40	159	94	29	29	21	11	7	2	1	13	23	0	633
	回答率	32.2%	6.3%	25.1%	14.8%	4.6%	4.6%	3.3%	1.7%	1.1%	0.3%	0.2%	2.1%	3.6%	0.0%	100.0%

出来事の内容を《プラスの実感》と《マイナスの実感》に分けて比較する。

《プラスの実感》を得た出来事（回答数 236 件、回答者 208 人）について、起こった時期とその内容をみると、時期は「6ヶ月以内」が 43 件（回答数の 18.2%）と多く、内容については「家庭生活・家族関係」にすることが 99 件（回答数の 41.9%）と多くなっている。

人生に影響を与えるような出来事《プラスの実感》



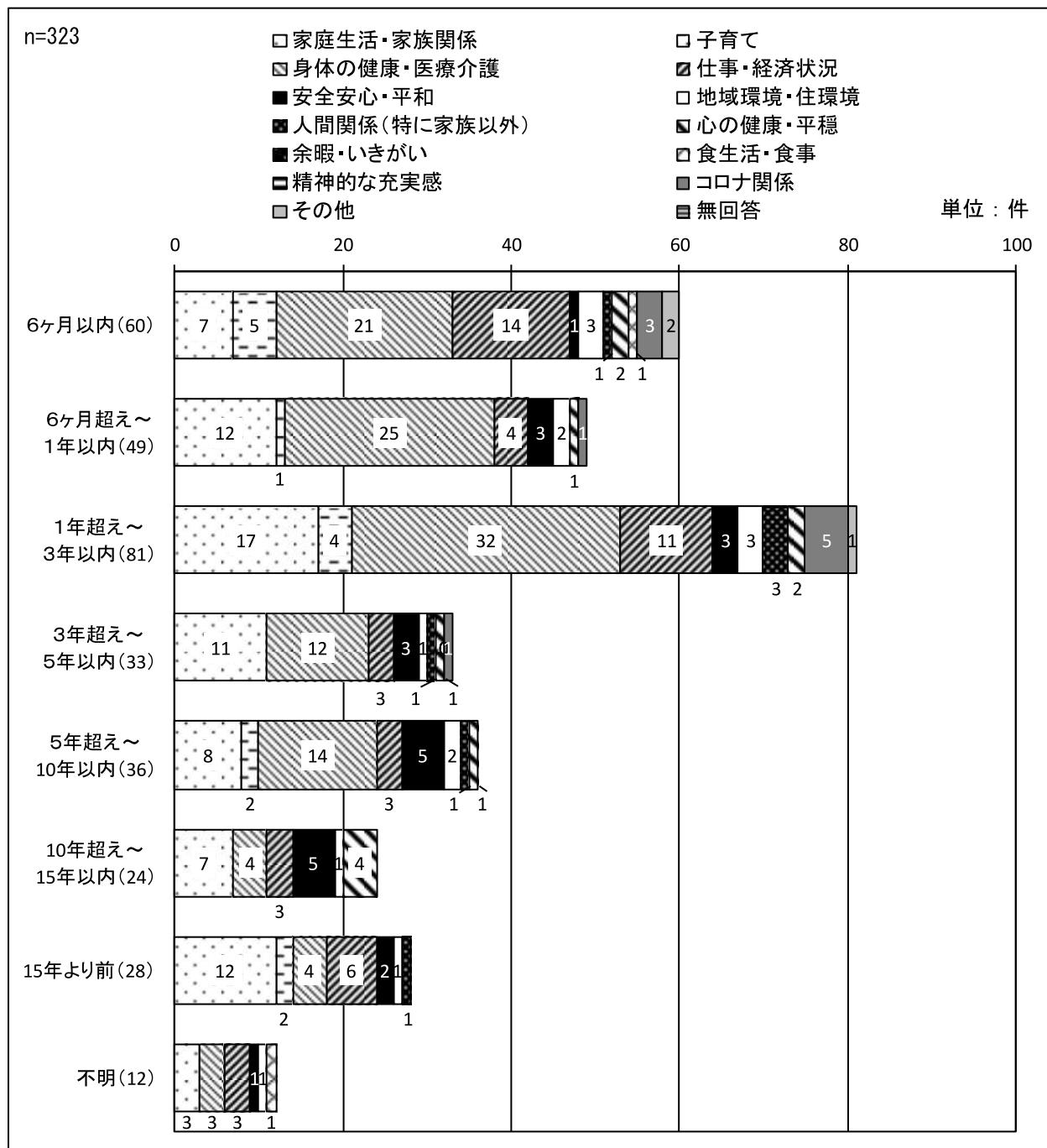
人生に影響を与えるような出来事《プラスの実感》（期間×出来事／回答数）

単位：件

実感 出来事	家庭生活・家族関係	子育て	身体 の健康・医療介護	仕事・経済状況	安全安心・平和	地域環境・住環境	（特に人間関係 に家族以外）	心の健康・平穏	余暇・いきがい	食生活・食事	精神的な充実感	コロナ関係	その他	無回答	合計
6ヶ月以内	14	8	4	10	0	3	0	0	0	0	0	0	4	0	43
6ヶ月超え～1年以内	20	5	3	5	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	36
1年超え～3年以内	8	3	6	4	0	2	0	0	2	0	0	0	4	0	29
3年超え～5年以内	14	1	5	5	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	29
5年超え～10年以内	14	2	3	3	0	5	3	0	0	0	0	0	3	0	33
10年超え～15年以内	13	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	20
15年より前	11	3	2	8	0	1	5	0	0	0	0	0	2	0	32
不明	5	1	1	3	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	14
合計	99	25	25	39	1	12	11	0	6	0	1	1	16	0	236

《マイナスの実感》を得た出来事（回答数 323 件・回答者 289 人）について、起こった時期とその内容をみると、時期は「1 年超え～3 年以内」が 81 件（回答数の 25.1%）と多く、内容については「身体の健康・医療介護」に関することが 115 件（回答数の 35.6%）と多くなっている。

人生に影響を与えるような出来事《マイナスの実感》



人生に影響を与えるような出来事《マイナスの実感》（期間×出来事／回答数）

単位：件

実感 出来事	家庭生活・家族関係	子育て	身体 の健康・医療 介護	仕事・ 経済状況	安全 安心・平和	地域 環境・住環境	（特に 人間関係 以外）	心 の健康・平 穩	余 暇・いきが い	食 生活・食 事	精 神的な充 実感	コ ロ ナ 関 係	そ の 他	無 回 答	合 計
6ヶ月以内	7	5	21	14	1	3	1	2	0	1	0	3	2	0	60
6ヶ月超え～ 1年以内	12	1	25	4	3	2	0	1	0	0	0	1	0	0	49
1年超え～ 3年以内	17	4	32	11	3	3	3	2	0	0	0	5	1	0	81
3年超え～ 5年以内	11	0	12	3	3	1	1	1	0	0	0	1	0	0	33
5年超え～ 10年以内	8	2	14	3	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0	36
10年超え～ 15年以内	7	0	4	3	5	1	0	4	0	0	0	0	0	0	24
15年より前	12	2	4	6	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	28
不明	3	0	3	3	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	12
合計	77	14	115	47	23	14	7	11	0	2	0	10	3	0	323